

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

平成30年度事業報告書目次

	ページ
I. 概 況	1
II. 施設別の概要	
秋田県北部老人福祉総合エリア	9
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	11
秋田県南部老人福祉総合エリア	13
高清水園	18
秋田県心身障害者コロニー	20
由利本荘地域生活支援センター	23
阿桜園	25
やまばと園	27
秋田県身体障害者更生訓練センター	29
秋田県点字図書館	31
【資料】	
1. 組織	33
2. 施設の概要	34
3. 施設のサービス利用状況	35
4. 役員等	37
5. 会議等	38
6. 職員	39
7. 研修の実施状況	40
8. 苦情解決処理状況	59
9. 虐待防止委員会の開催状況	61
10. ハイクオリティサービス推進システム	63

I 概況

当事業団の運営に当たっては、「5カ年経営計画」（平成28～32年度）に基づき、利用者の個性を尊重した利用者本位のサービスの提供と職員の働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。また、自立的経営の確立に向けた取組を強化した。

組織管理

1 経営体制の強化

平成29年度から本格的に実施された社会福祉法人改革を踏まえ、経営組織のガバナンスの強化や透明性の高い運営に努めた。

① ガバナンスの強化

評議員会、理事会、経営会議（総合施設長等で構成）及び施設長会議を開催し、事業計画、予算、決算など重要事項について審議した。

区 分	開催日	主な決議・協議事項
評議員会	平成30年6月25日	・平成29年度事業報告及び決算 ・理事の選任 ・会計監査人の選任及び報酬
	平成31年3月20日	・定款の一部変更
理事会	平成30年5月14日 （書面議決）	・（仮称）障害者支援センター御所野の工事契約
	平成30年6月5日	・平成29年度事業報告及び決算 ・理事の選任 ・会計監査人の選任及び報酬 ・定時評議員会の開催等
	平成30年7月31日 （書面議決）	・評議員候補者の推薦
	平成30年10月2日	・平成30年度1次補正予算 ・有期雇用准職員就業規則の一部改正 ・今後の人材確保・給与の見直し ・由利本荘地域生活支援センター放課後等デイサービスの拡充 ・（仮称）障害者支援センター御所野の名称 ・給食業務の外部委託 ・積立金の資金運用
	平成31年1月24日	・平成31年度人材確保・給与の見直し ・職員給与規則の一部改正 ・組織規則の一部改正 ・職員就業規則の一部改正 ・継続職員就業規則の一部改正 ・地域交流費費用の予算計上 ・資金の運用管理 ・研修アドバイザー（仮称）の委嘱

	平成31年 3 月 8 日	・定款の一部変更 ・評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正 ・公印取扱規則の一部改正 ・文書取扱規則の一部改正 ・職員給与規則の一部改正 ・有期雇用准職員就業規則の一部改正 ・無期雇用准職員就業規則の一部改正 ・旅費規則の一部改正 ・会計規則の一部改正 ・平成30年度 2 次補正予算 ・平成31年度事業計画 ・平成31年度当初予算 ・施設長等の任命 ・障害者支援センター御所野の工事契約の変更 ・平成31年度職員採用計画
評議員選任・ 解任委員会	平成30年 8 月 2 日	・評議員の選任 (辞任に伴う補充)

経営会議 6 回開催（平成30年 5 月、6 月、7 月、8 月、9 月、12 月）
施設長会議 4 回開催（平成30年 5 月、9 月、12 月、31 年 2 月）

② 監査体制の強化

会計監査人による期中監査、監事による監査のほか、本部職員等による内部監査を実施し、財務規律の強化を図った。

区 分	実施状況	内 容
監事の監査	平成30年 6 月 1 日	平成29年度事業執行及び決算
会計監査人の 監査	平成30年 5 月 7 日 ～ 5 月11 日	各施設（会計拠点区分）の期末監査
	平成30年11月27日 ～31 年 3 月 1 日	各施設（会計拠点区分）の期中監査
内部監査	平成30年 9 月18日 ～ 9 月26 日	事務局及び 5 施設の会計処理

③ 県有施設等の経営

秋田県から無償貸与されている心身障害者コロニー等 3 施設、指定管理している老人福祉総合エリアなど 5 施設について、適正な経営に努めた。

南部老人福祉エリアの養護老人ホーム・軽費老人ホーム・老人専用マンションの 3 施設は、今後の運営に関する協議の申し入れを受け、施設の老朽化対策や経営改善等について協議を行った。また、老人専用マンションのエレベーター更新、外壁等の補修、居室のバリアフリー改修（車いす対応トイレ、シャワー室の整備等）が県工事により行われた。

④ 自主設置施設の経営

平成28年度から譲受けた高清水園、阿桜園を経営するほか、開設2年目の由利本荘地域生活支援センターでは、送迎による生活介護、放課後等デイサービスなどの取組を強化し、利用者が増加した。

老朽化した身体障害者更生訓練センター（県から無償借受）を引き継ぐ障害者支援センター御所野については、平成30年5月から建築工事を着手し、平成31年3月15日に完成し、平成31年4月開設した。

区 分	施設名	開設
指定管理	北部老人福祉総合エリア	平成11年
	中央地区老人福祉総合エリア	平成8年
	南部老人福祉総合エリア	昭和63年
	南部老人エリア・老人専用マンション	平成3年
	点字図書館	平成6年
	やまばと園	昭和49年
県から無償貸与	心身障害者コロニー	昭和46～49年
	南部老人エリア・養護老人ホーム	平成元年
	南部老人エリア・軽費老人ホーム	平成2年
県から無償譲受	高清水園	平成9年
	阿桜園	昭和39年
	由利本荘生活支援センター水林事業所	昭和62年
自主設置	由利本荘地域生活支援センター	平成28年
	障害者支援センター御所野	平成31年

⑤ 情報公開、広報活動の推進

経営の透明性を確保し、開かれた事業の運営を図るため、事業計画、収支計算書、役員報酬基準等について、ホームページ等に公表した。

また、各施設の取組について、利用者や家族、地域住民からの理解が得られるよう、ホームページや施設の広報紙等を通じてPRに努めた。

⑥ コンプライアンスの徹底

改正社会福祉法を踏まえ、法人の業務を適正に執行するための基本方針を定めるとともに、この方針に基づき必要な規則の見直しを行った。

業務管理体制を強化し、各種会議を通じてコンプライアンスの徹底を図った。

⑦ 危機管理対策の強化

非常時・緊急時等のメール一斉送信システムを活用し、緊急時の連絡体制の強化を図った。また、非常用備蓄食料、資器材等を計画的に整備し、災害時において利用者の安全の確保及び事業の継続が図られるよう体制の整備に努めた。

事業管理

2 質の高いサービス提供

利用者の高齢化、重度化に対応したサービス提供体制の充実、強度行動障がいに対応した居住空間の改善などに取り組むとともに、既存の福祉制度では対応が難しい課題に対し、地域の関係機関と連携した取組を進めた。

① ハイクオリティサービス推進システム（まごころシステム）の推進

福祉サービスの向上と危機管理を基軸に利用者本位のより高いサービスを提供する事業団独自のシステムの着実な運用を図り、ヒヤリ・ハットや苦情解決処理報告に基づき改善に努めた。

特に、各施設の虐待防止委員会を中心に、全職員を対象とした自己点検結果を検証しながら虐待防止への取組を強化した。

② 利用者的高齢化・重度化に対応した支援

利用者的高齢化、重度化に対応したサービス提供体制の充実を図った。

○ 清水園

消防法施行令等の改正に伴う防火対策の強化を図るため、消防設備が整った新たなグループホームに平成30年10月転居した。また、グループホーム利用者の支援強化を図るため、グループホームの近隣に支援員・世話人が常駐するサポートセンターを開設した。

○ 心身障害者コロニー

行動障がいの特性に配慮した施設改修を進め、平成31年4月から施設入所を開始するとともに、より質の高いサービスを提供するため先進地視察及び体験型の研修に参加した。

○ 南部老人福祉エリア・老人専用マンション

老人専用マンションの利用者が安全に生活することができるよう、2階のバリアフリー工事及びエレベーターの改修を行った。

③ 強度行動障がいに対応したサービスの充実

心身障害者コロニーでは、開成支援課棟の一部を改修し、強度行動障がいに対応した自分用スペースの確保など居住空間を改善するとともに、スプリンクラーを整備し、平成31年度から施設入所サービスを開始することとした。

清水園でも、自閉症、強度行動障がい等への専門的な支援の構築に向け、自立課題への取組や作業スペースの構造化により、個別課題の充実に努めた。

④ 給食の外部委託

調理員の確保が課題となっており、平成31年度から段階的に外部委託を進めることとし、平成30年12月プロポーザル方式により業者を選考した。

○清水園、障害者支援センター御所野～（株）メフォス

○やまばと園～一富士フードサービス（株）

⑤ 障がい児に対する専門的なサービスの提供

阿桜園では、県南地区で唯一の障害児施設（定員５人）として、日常生活の充実や社会生活への適応を高めるため、専門性の高いサービスの提供に努めた。

また、由利本荘地域生活支援センターでは、放課後等デイサービスの契約者が増加し、利用希望に応え切れていない状況にあることから、第２事業所を確保し、平成３１年４月から開設した。

⑥ 地域における公益的な取組

地域の社会福祉協議会やＮＰＯ法人と連携し、施設が有する専門性を地域に提供することができるよう引き続き取り組んだ。

○ 事務局

フードバンク活動、制服リユース、家族代行支援事業等を行うＮＰＯ法人の活動を支援するため、職員が月１回ボランティアとして参加。

○ 高清水園

秋田市内の知的障害者グループホームを利用する方々の交流及び余暇活動の充実を支援するため、他法人と連携しながらボウリング大会を開催。

○ 心身障害者コロニー

由利本荘市社会福祉協議会等と連携し、地域で暮らす障がい者や引きこもりがちな方々が交流できる場を新たに整備し、月１回ふれあい交流会を開催。

○ 由利本荘地域生活支援センター

発達に関する不安や悩みを抱える家族を対象に「バーベキュー交流会」を開催。

○ 阿桜園

地域で生活する障がい者の方を対象に、余暇活動の場を提供するため、月１回陶芸教室を開催。

○ やまばと園

福祉サービスを利用しておらず、家族以外との交流がない方を対象に、自宅以外で安心して楽しく過ごせる活動の場として交流サロンを月１回開催。

○ 点字図書館

市民を対象とし、「プチッと点字体験」を通じた点字への興味関心及び障がいの理解推進。

⑦ 苦情・要望への対応

各施設による満足度調査等の実施により、幅広く苦情、要望等を受け付ける体制を整えた。また、受け付けた苦情等については迅速に対応し、職員への周知、申出人及び各施設に設置する第三者委員への報告を行った。

⑧ 高齢者等の健康づくり支援

北部・中央・南部老人福祉総合エリアでは、観光情報誌へ広告を掲載するなど新たなＰＲ活動を行ったほか、顧客満足度調査の実施により利用客の意見を積極的に取り入れ、幅広い年代のスポーツ・健康づくり事業に取り組んだ。

財務管理

3 財務基盤の強化

利用者に対するサービス提供体制を充実するための人員配置体制加算等を取得し、サービス活動収益の増収を図るとともに、経費の節減に努め、施設改築等に必要な積立金を確保した。

① 自立経営に向けた財源確保

利用者の重度化、高齢化に対し、サービス提供体制を充実することにより、人員配置体制加算等を取得し、サービス活動収益の増収に取り組んだ。

中期的な経営状況をシュミレーションし、県から譲り受けた高清水園、阿桜園の改築など施設改築や新たな事業の展開に必要な資金の確保に努めた。

単位：百万円

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業展開積立金	当期積立	269	311	405
	当期取崩	▲49	▲74	▲824
	累計額	1,582	1,819	1,400

② 計画的な施設・設備の修繕

秋田県建築住宅センターから専門的なアドバイスを得ながら、老朽化している建物や設備の調査を行い、計画的な建物設備の修繕に取り組んだ。

主な修繕工事・設備更新

単位：千円

施設名	内 容	契約額
阿桜園	屋根の防水改修	19,958
心身障害者コロニー	男女トイレの改修	4,212
心身障害者コロニー	強度行動障がい対応のための改修	5,184
南部エリア・養護老人ホーム	厨房天井送風機の更新	4,644
南部エリア・養護老人ホーム	避難用出入り口スロープ化工事	3,142
高清水園	貯湯槽の更新	9,612

③ コスト削減の取組

各施設が使用する電気について、平成29年度から新電力会社等による競争入札を導入し、電力購入経費の削減に取り組んだ。この結果、平成30年度の経費節減は約22百万円と見込まれる。

また、各施設が使用（消費）する灯油、精米について、本部一括による共同入札を引き続き行い、スケールメリットを生かしたコスト削減に努めた。

④ 安全性を考慮した資金運用

施設の改築、改修や新たな事業の展開に必要な資産について、安全性について十分考慮した上で、地方債による運用を増額した。

地方債 1億円（平成29年度末） → 5億円（平成30年度末）

人事管理

4 人材確保及び養成

福祉サービスを担う人材確保は極めて重要な課題であり、若手正職員、契約・継続雇用職員の確保と正規・非正規職員の均衡待遇を図るための給与見直しを平成31年度から段階的に進める旨を職員に説明し、理解を求めた。

これらの説明会における職員の意見等を踏まえ、平成31年4月から夜勤を行う契約職員の賞与引上げ、勤務地を限った福祉職の採用、サービス管理責任者等への継続雇用職員の配置等を行うこととし、就業規則等を見直した。

① 正職員の確保

専門性の高い人材を確保するため、県内外で開催される就職説明会や大学等を訪問し職員の募集強化に努めた。

福祉職については、入所施設の正職員配置比率50%を目標に定年退職者を上回る14人を採用したが、5人が早期退職し増員には至らなかった。

また、高卒者等では転勤を避けたい志向が強いことを踏まえ、勤務地を3地区（秋田市、由利本荘市、横手市・湯沢市）に限る採用試験を平成31年度から実施することとした。

さらに、各施設の医療的ケアの充実を図るため、看護師3人を採用した。

単位：人

区 分	平成30年度採用	平成30年度退職A	平成31年度採用B	比較B－A
福祉職	13	18	14	▲4
	大学卒 2	定年退職 13	大学卒 6	
	短大卒 2	早期退職 5	短大卒 2	
	高校卒 4		高校卒 0	
	職務経験 5		職務経験 6	
看護師	短大卒 2	定年退職 2	短大卒 3	1
合 計	15	20	17	▲3

② 契約職員の待遇改善

入所施設の支援員の欠員が常態化しており、夜勤職員の確保と職場定着を図るため、平成31年度から賞与を増額するための規則改正を行った。

ア 夜勤・無期雇用・支援員の賞与 3万円→15万円

イ ア以外の支援員の賞与 3万円→10万円

③ 継続雇用職員の活用

定年退職後も引き続き活躍できるよう、経験・ノウハウを生かせる職務の開拓や多様な働き方が選択できる環境づくりを進め、平成30年度からは、サービス管理責任者や相談支援専門員などの専門職への配置ができるよう、就業規則の見直しを行うとともに、給与についても改善を図った。

④ 正規・契約職員の格差是正

国の処遇改善加算の使途について、他業種より低い福祉・介護職員の賃金改善を図る趣旨で制度化されたことも踏まえ、正職員の処遇改善手当を見直し、契約

職員の給与改善に充てることとした。

⑤ 職員研修による資質向上

自立的経営を進める上で必要な能力や使命感、質の高いサービスの提供に必要な専門的な知識・技術を持った職員を育成するため、法人による階層別研修や能力開発研修を実施したほか、秋田県から委託された強度行動障害支援者養成研修、障害者虐待防止・権利擁護研修を実施した

また、施設単位にOJTを積極的に展開するとともに、事業所内、事業所外研修の機会の拡充を図った。

区 分	研修名	回 数	受講者
階層別研修	新任職員研修	2 回	4 5 人
	中堅等職員研修（チームビルディング研修）	1 回	2 3 人
	管理職員研修（リーダーシップ研修）	1 回	2 4 人
	准職員研修	1 回	2 8 人
特別研修	ケアマネジメント研修	1 回	2 0 人
	世話人研修	1 回	3 1 人
	実践発表会	1 回	9 3 人
	福祉の森操作研修	1 回	2 7 人
	新規採用内定者に対する事前研修	1 回	1 8 人
県委託研修	強度行動障害支援者養成研修	2 回	2 2 7 人
	障害者虐待防止・権利擁護研修	1 回	1 0 8 人

⑥ 専門的な支援のスキルアップ

国が行う強度行動障害支援者養成研修を受講するほか、引き続き国立大学法人秋田大学教員を支援アドバイザーとして配置し、指導・助言を受けながら障がい特性の理解や援助技術等の習得に努め、職員の専門性の一層の向上を図った。

また、サービス管理責任者や相談支援専門員をはじめとする支援に係る職員の専門的な知識及び支援技術の向上を図るため、平成31年度から研修アドバイザーの配置について協議を重ねた。

⑦ 資格取得の奨励

介護福祉士等の資格取得への取り組みを奨励するなど職員の自己啓発を進め、自己研鑽及び業務遂行能力の一層の高揚を図った。

⑧ メンタルヘルスケア等の充実

各施設において全職員を対象にストレスチェックを行い、必要な措置を講じた。また、セクシャルハラスメント防止については、各種会議等を通じて周知を図った。

⑨ 職員提案の推進

職員提案を募集し、業務改善や利用者へのより良いサービス提供につながる提案について取り組んだ。

Ⅱ 施設別の概要

秋田県北部老人福祉総合エリア

① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・ 3 エリア協同事業として、大館能代空港に 3 エリアのパンフレットを配布した。また、北部エリア単独事業として、秋田県内全域から観光客獲得を目的にゴールデンウィーク前に秋田魁新報へ広告掲載したほか、イベント周知を目的に北鹿新聞等へ広告を掲載するなど広報・普及活動に努めた。
- ・ 中学校・高校等スポーツ団体宿泊の誘致に向けて「大館樹海ドーム」に看板を設置したほか、県北各高校へ「団体宿泊優待プラン」の営業活動を行った。
- ・ 北部エリアの地元である大館市十二所地区の広報誌である「十二所だより」に毎月 1 回、エリアの各種事業などの情報を掲載したほか、大館市の広報誌へ各種教室開催の案内を掲載した。

② 教室の企画、開催

- ・ 趣味・生きがい活動の支援として各種教室を企画、開催した。
常勤講師による陶芸・木工教室（週 3 回）
外部講師による教室（園芸、茶の湯、健康づくり、パン作り）（随時）
- ・ 新たに親子向けの創作・料理教室（シフォンケーキ作り・親子パン作り・パステル和みアート・ハーバリウム・ミニ四駆）を開催した。

③ イベント等の開催

- ・ 帰省客等が大勢利用するお盆期間に「お盆イベント」を開催したほか、恒例事業である「お客様感謝祭」を 2 月に開催した。いずれも大盛況で例年に比べ多くの方が来館された。交流イベント等は昨年と比較して 3, 0 0 0 人の利用者増であった。
- ・ 県社会福祉協議会と共催による「進路ガイダンス・高校生福祉セミナー」を継続開催したほか、健康づくり事業として、グラウンド・ゴルフ大会、ユニカー大会（2 回）を実施した。
- ・ 「県の記念日」、「敬老の日」に無料開放を実施した。

④ 世代間交流等

- ・ 世代間交流事業として、大館市内保育園児等と老人クラブの方々によるサツマイモの苗植えと収穫作業を実施した。

利用状況

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		平成30年度	平成29年度	
有 料	休 憩	24,034	18,750	5,284
	宿 泊	2,356	1,961	395
	会 議 室 等	3,061	3,474	△ 413
	屋 内 運 動 広 場	1,626	2,484	△ 858
	テ ニ ス コ ー ト	1,248	1,249	△ 1
	自 主 企 画 事 業	1,549	1,375	174
	小 計	33,874	29,293	4,581
無 料	屋 内 運 動 広 場	20,633	17,712	2,921
	屋 外 運 動 施 設 等	1,418	1,095	323
	自 主 企 画 事 業	12,315	8,087	4,228
	視 察 等	123	174	△ 51
	小 計	34,489	27,068	7,421
合 計		68,363	56,361	12,002

2. 各種教室・講座の実施状況

() 内は開催回数

区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減
生 き が い 活 動	有 料			
	陶 芸	694 (155)	602 (107)	92 (48)
	木 工	545 (138)	391 (98)	154 (40)
	園 芸	43 (6)	43 (7)	0 (△ 1)
	茶 道	87 (12)	88 (10)	△ 1 (2)
	そ の 他 の 教 室	180 (15)	251 (25)	△ 71 (△ 10)
小 計		1,549 (326)	1,375 (247)	174 (79)

区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減
健康 づくり	有 料			
	ス ポ ー ツ 大 会 等	344 (3)	501 (5)	△ 157 (△ 2)
小 計		344 (3)	501 (5)	△ 157 (△ 2)
交 流 活 動	無 料			
	交 流 イ ベ ン ト 等	7,217 (11)	4,121 (17)	3,096 (△ 6)
小 計		7,217 (11)	4,121 (17)	3,096 (△ 6)
そ の 他	無 料			
	映 写 会	2,603 (169)	1,756 (124)	847 (45)
	無 料 開 放	441 (2)	455 (2)	△ 14 (0)
	ポ イ ン ト カ ー ド 等	1,710 (12)	1,254 (12)	456 (0)
小 計		4,754 (183)	3,465 (138)	1,289 (45)
合 計		12,315 (197)	8,087 (160)	4,228 (37)

3. 利用状況の推移

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年 間 利 用 者 数	79,090	78,964	74,515	56,361	68,363

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・ 11月4日のエリア感謝祭では、大森山動物園と秋田市南消防署に協力を依頼し、イベントを開催した。チラシを御所野、御野場、河辺地区に新聞折込実施。御所野幼稚園・ごしよの保育園・各サービスセンター・大森山動物園等に配布しPRを図り、当日は延べ1,395名の来館があった。
- ・ 協賛イベントとして、毎月第3木曜日に屋内運動広場にてトップスポーツコンソーシアム秋田と小学校低学年向けにスポコンパークを、また年5回多目的ホールにてミニ四駆団体とのミニ四駆大会、11月25日に屋内運動広場にて秋田ノーザンハピネッツとバスケット・ラート体験を開催した。
- ・ 休憩入浴利用増に向けて、秋田市コミュニティセンター及び秋田市内放課後児童クラブへ訪問し、パンフレットを配布した。また、県内道の駅10ヶ所にパンフレットを設置した。
- ・ 団体の宿泊利用に向けて、秋田市内の高校へ訪問。秋田市外の高校にはパンフレットを郵送した。

② 地域ニーズに基づいた創作教室の企画と開催

- ・ 地域住民の健康づくりや生きがい活動の支援として、創作教室（7教室）水泳教室（シェイプ・一般・児童）を通年開催した。また、7・8月には親子体験教室として陶芸・七宝焼・ミニ四駆・ハーバリウムを、1月には七宝焼・ミニ四駆を開催した。
- ・ 健康づくり事業の一環として、「笑い」をテーマに「笑い与健康」を開催し、秋田大学落語研究会の落語・漫才を休憩入浴利用者に披露し、甘酒のふるまいを実施した。
- ・ 世代間交流事業として、保育園児・ウエルハウス入所者・地域住民の方々によるさつまいもの苗植え及び収穫を行い、交流を深めた。
- ・ 「県の記念日」と「敬老の日」に休憩入浴の無料開放を行い、施設のPRと利用促進に努めた。

③ サービスの向上

- ・ アンケート用紙を館内の1階と2階およびプール受付前に設置し、ご意見ご要望に対しての回答を掲示し、より利用しやすい施設運営に努めた。

④ 設備等の維持管理

- ・ 設備の老朽化が見られるため、定期的な点検による安全性の確保を行い、利用者に対しサービス低下にならないよう努めた。

利用状況

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		平成30年度	平成29年度	
有 料	休 憩	42,066	41,264	802
	宿 泊	3,188	3,015	173
	会 議 室 等	24,913	33,122	△ 8,209
	屋内運動広場	24,194	17,272	6,922
	緑地運動広場	2,416	2,233	183
	陶 芸 室 等	2,751	1,836	915
	プ ー ル	34,597	35,082	△ 485
	休憩&プールセット	1,030	1,076	△ 46
	各種自主事業等	8,341	9,627	△ 1,286
	小 計	143,496	144,527	△ 1,031
無 料	屋内運動広場	20,960	13,555	7,405
	屋外運動施設等	231	222	9
	各種自主事業等	1,311	1,164	147
	視 察 等	38	35	3
	小 計	22,540	14,976	7,564
合 計		166,036	159,503	6,533

2. 各種教室・講座の実施状況

単位：人 () 内は開催回数

区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減	
有 料	生 活 陶 芸	624 (96)	708 (96)	△ 84	(0)
	フ ラ ワ ー	133 (12)	104 (12)	29	(0)
	茶 道	193 (24)	215 (24)	△ 22	(0)
	その他の教室	193 (5)	172 (6)	21	△ 1)
	小 計	1,143 (137)	1,199 (138)	△ 56	(0)
	健 太 極 拳	402 (36)	409 (36)	△ 7	(0)
	ボールエクササイズ	444 (32)	359 (32)	85	(0)
	はつらつくらぶ事業	861 (36)	847 (36)	14	(0)
	フラダンス	0 (0)	124 (24)	△ 124	△ 24)
	健康づくり事業	397 (48)	391 (48)	6	(0)
	小 計	2,104 (152)	2,130 (176)	△ 26	(0)
	の イベント等	5,094 ()	6,298	△ 1,204	△ 1,204
	小 計	5,094 (0)	6,298 (0)	△ 1,204	△ 1,204
	合 計	8,341 (289)	9,627 (314)	△ 1,286	△ 25)

有 料	健康	水泳教室	3,639 (548)	3,795 (578)	△ 156	△ 30)
合 計			3,639 (548)	3,795 (578)	△ 156	△ 30)

区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減	
そ の 他	映 写 会	0 (0)	0 (0)	0	(0)
	ポイントカード	323 (323)	258 (258)	65	(65)
	無料開放等	605 (2)	536 (2)	69	(0)
	ボランティアルーム	383 (24)	370 (27)	13	△ 3)
合 計		1,311 (349)	1,164 (287)	147	(62)

3. 過去5年間の利用状況の推移

単位：人

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コミュニティセンター利用者数	137,952	156,515	161,517	169,052	159,503	166,036

秋田県南部老人福祉総合エリア

【コミュニティセンター】

① 地域ニーズに基づいた魅力的な教室の企画・開催

- ・教室のPRについては、新たな試みは特に行わなかった。参加者が増加した教室もあったが殆どが横ばい状態であった。また、教室の改廃について検討したが施設入居者の数少ない地域交流の場となっている教室がほとんどで廃止は難しい状態であった。
- ・親子創作教室については、開催内容を工夫したおかげで夏冬2回とも予定参加者数を大幅に超える申し込みがあった。

② 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・老人クラブ関係の利用及び福祉施設の利用は前年度より増加した。
- ・新たな誘客企画として学習合宿を企画した。平成30年度の利用はなかったが、興味を示した学習塾があり、PRを継続していく。

③ サービスの充実・満足度調査の実施

- ・イベント毎にアンケートを実施して意見を徴収したが、PR活動に反映させるまでには至らなかった。
- ・満足度調査については、サンプル数が非常に少なく、実施方法やあり方について検討をする必要性があった。

④ 設備等のチェックと早期改善に向けた対応

- ・職員による定期的なチェックにより、修繕箇所を早期発見して重大事故に至る事はなかった。
- ・設備の更新や補修については、県や事業団と協議して必要な補修等を実施した。

⑤ 関係機関との連携

- ・横手市立大森病院等との連携により「健康の丘おおもり祭り」を開催し、地域住民の多数の来場があった。
- ・平成30年度から白寿園や老健おおもりと合同で研修を行うことで、職員のスキルアップを図ることができた。

【養護老人ホーム】

① 利用者のQOL向上への取り組み

- ・日常的な利用者との会話や言葉かけに加え、利用者会議でのご意見も勘案して個別支援計画の内容の充実を図った。
- ・コミュニティセンターで行われる地域住民との交流行事、生きがい教室に加え、ホーム内の行事（ショッピング、季節のお楽しみ会、クラブ活動）を企画・実施した。
- ・身体機能が低下した利用者には、訪問介護事業所と連携を取りながら新たに設

置した特殊浴槽を有効活用した。

② 住環境の整備

- ・要介護と認定された利用者の居室については、介護支援専門員等の協力を得ながらベッドや手摺り等の設置を行った。
- ・階段状の避難路 1 か所をスロープ化し、車椅子等での避難や散歩等に対応した。

③ 健康管理

- ・年間を通じ転倒者が多く見られた。ケース検討を行い要因分析と転倒予防チェックリストを実施し利用者全員のリスク分析や度合いの点数化を行った。
- ・感染予防に関しては、研修と予防対策により利用者の発症はなかった。

【軽費老人ホーム】

① 特定施設入居者生活介護事業の展開

- ・年間を通じて 3 名の退去と 3 名の新規利用があり、現在 21 名が登録。利用者に対し同事業の説明会等を実施した。短期入所の利用者はなく、看取り態勢も含め検討及び整備は進めていない。

② 利用者の QOL 向上への取り組み

- ・個別支援計画は自立に向けた支援を目指した内容とした。また、利用者にとって気軽に相談できる態勢及び雰囲気作りに努めた。
- ・コミュニティセンターと連携し、地域住民との交流イベントや生きがい教室を通じて施設職員以外の方々との交流や会話の機会を作った。
- ・看護師による健康チェックと相談、機能訓練士による健康体操により、継続的に健康に対する意識を高めることができた。

③ 住環境の整備

- ・「特定施設入居者生活介護」対象の利用者の居室については、介護支援専門員が中心となり、安全に配慮された機能的なベッドや手摺り等の設置を行った。

④ 健康管理

- ・感染症予防対策及び感染症発生時の拡大防止に努め、感染症の発生はなかった。
- ・筋力低下、認知機能の低下等で転倒リスクの高い利用者が増加している。転倒防止のため、履物や福祉用具の整備を進めた。

【老人専用マンション】

① 入居者増に向けた取り組み

- ・秋田県による 2 階居室の改修工事が年度末に終了し、入居者確保のため新聞に広告を掲載。数件の問い合わせがあり、1 件が入居に至った。

② 住環境の整備

- ・盆過ぎから秋田県による外壁工事、2 階居室の改修工事、エレベーター更新工

事が継続して行われた。騒音や振動に加え、2階入居者の3階引っ越し、エレベーターや食堂の使用不可期間が発生する等、入居者に心身のご負担をおかけすることになった。他部署職員の協力により3階への食事配膳や階段昇降機操作を実施。

③ 継続入居の推進

- ・秋田県を交え、老人専用マンションの今後の運営や入居者の高齢化対策等について協議を実施。
- ・入居者各々のライフスタイルが固定化しており、共通の余暇活動は難しかった。

④ 介護サービスの事業検証

- ・介護付き老人マンションとするには施設設備や機能が整っておらず、立地条件からも選択される可能性は低いと分析・判断した。また、給食部門をはじめ、職員の確保が年々難しくなっている。

⑤ 健康管理

- ・感染症予防として施設内の消毒・換気を行い、感染症の発生はなかった。
- ・筋力低下、疾病から転倒に至ったケースあり。要因を分析し福祉用具の整備を進めた。

【居宅支援センター】

＜指定居宅介護支援事業所＞

① サービスの向上に向けた取り組み

- ・アセスメントに関する情報収集を行い、利用者やご家族からの要望等を考慮したケアプランの作成に努めた。その際は、複数のサービス事業所について提案し、利用者自身が選択できるよう努めた。

② 事業所等との連携の強化

- ・毎月地域ケア会議に出席し、各関係機関と連携を強化できた。
- ・毎月施設との連絡会を開催し、情報交換することでケアプランに反映させた。

＜指定訪問介護事業所＞

① サービスの向上に向けた取り組み

- ・毎月居宅支援センター会議を開催し、サービス提供の状況を確認した。また3か月ごとにケアカンファレンスを行っている。ケアプランに沿ったサービス提供の状況、また、そのケアプランが利用者のニーズに合ったものか確認することができた。

② 事業所等との連携の強化

- ・毎月施設との連絡会を開催し、利用者の情報を共有することができた。また、各居宅介護支援事業所へは、毎月モニタリング票で利用者の情報を提供するよう努めている。

利用状況

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		平成30年度	平成29年度	
有 料	休 憩	12,026	11,461	565
	宿 泊	738	966	△ 228
	会 議 室 等	737	1,226	△ 489
	屋 内 運 動 広 場	4,974	4,310	664
	プ ー ル	7,579	6,152	1,427
	セ ッ ト 券	100	65	35
	自 主 事 業	7,172	6,042	1,130
	小 計	33,326	30,222	3,104
無 料	屋 内 運 動 広 場	24,434	24,283	151
	各 種 事 業 等	7,659	8,022	△ 363
	そ の 他 事 業	16,140	16,989	△ 849
	視 察 等	87	130	△ 43
	小 計	48,320	49,424	△ 1,104
合 計		81,646	79,646	2,000

2. 各種教室・講座の実施状況

() 内は開催回数

区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減
生 活 活 動 が い	有 料			
	陶 芸	814 (167)	665 (166)	149 (1)
	茶 道	86 (11)	85 (11)	1 (0)
	その他の教室	1,184 (130)	1,352 (132)	△ 168 (△ 2)
小 計		2,084 (308)	2,102 (309)	△ 18 (△ 1)

区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減
健康 づくり	有 料			
	スポーツ大会等	682 (10)	612 (10)	70 (0)
小 計		682 (10)	612 (10)	70 (0)
交流 活動	無 料			
	交流イベント等	6,407	5,223	1,184
小 計		6,407	5,223	1,184
そ の 他	無 料			
	映 写 会	758 (48)	792 (48)	△ 34 (0)
	無 料 開 放	394 (2)	457 (2)	△ 63 (0)
	ポイントカード等	73	67	6
小 計		1,225 (50)	1,316 (50)	△ 91 (0)
合 計		8,314 (60)	7,151 (60)	1,163 (0)

3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年 間 利 用 者 数	92,572	89,752	88,428	79,646	81,646

利用状況

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H30.4.1		H31.4.1		H30.4～H31.3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
養護老人ホーム	50	49	50	48	18,127	49.7
軽費老人ホーム	50	46	50	46	16,892	46.3
内 特定入居者生活介護	25	21	25	21	7,596	20.8
老人専用マンション	24	7	24	4	2,112	5.8

2. 利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）養護老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	3	2	3	4	0	0	12
女	3	5	11	4	2	1	0	26
計	3	8	13	7	6	1	0	38

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	3	6	8	17
女	0	0	0	0	2	8	22	32
計	0	0	0	0	5	14	30	49

（2）軽費老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	2	4	4	1	0	0	0	11
女	4	6	5	3	3	1	0	22
計	6	10	9	4	3	1	0	33

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	0	6	10	16
女	0	0	0	0	0	3	27	30
計	0	0	0	0	0	9	37	46

（3）居宅支援サービス

種 別	H30.4～H31.3延件数
指定居宅介護支援事業	728
指定訪問介護事業	7,266
横手市在宅高齢者等配食サービス事業	1,734

高 清 水 園

① 日中活動の再編

- ・利用者の障がい特性に配慮し、きらら寮や作業棟、体育館を改修した上で「居住空間」と「作業空間」を分離した活動場所を整備した。
- ・平成30年10月より活動内容を見直し、利用者一人ひとりの個性や特性を考慮して4つのグループ（レクリエーション活動、生産活動、創作活動、自立課題）を設け、月～金曜日の10時～11時の時間帯に日課を組み入れ、日中活動の充実を図った。

② 自閉症や強度行動障がい等への専門的な取組

- ・きらら寮内のハード面を整備・改修し、落ち着いた空間で作業を行えるよう、間仕切って作業スペースの構造化を図った。
- ・自閉症や強度行動障がいのある利用者の中から、特に個別支援が必要な利用者に対しては、強度行動障害研修を受講した職員を中心に自立課題を組み込んだ専門的なアプローチを行った。自立課題は基本的にグループ活動時に実施したが、利用者の不穏時にも自立課題を提供することで、利用者の情緒安定につながった。

③ タブレット端末を活用した支援

- ・動画による目的別支援プログラムの構築と実用化を目的に、支援目的別の素材や動画収集・編集により、日中活動全般の取り組みとリンクした支援プログラムの作成に努めた。

④ 地域生活支援の体制強化

- ・秋田駅東にある5ヶ所のグループホームを集約化し、平成30年10月に開設した。夜間支援体制の強化を図るとともに、サテライト型住居を4ヶ所確保した。

併せて地域への事務所機能移設により、利便性、機動性の向上、グループホーム利用者とのコミュニケーション形成の場とする地域生活サポートセンターを開設し、一人ひとりの望む暮らしが継続できるよう、地域生活支援体制基盤の構築に努めた。

⑤ 地域福祉ニーズへの対応

- ・より総合的、専門的な相談支援体制を確保するため、身体障害者更生訓練センター相談支援事業所との統合に向けた調整を進め、平成31年4月から相談支援専門員4名体制による事業所を開設した。
- ・放課後等デイサービス事業については、営業活動やフェイスブックの開設、長期休みのイベント企画等により利用者増員につなげた。

利用状況

1. 利用者数（契約者）

単位：人

種別	H30. 4. 1		H31. 4. 1		H30. 4～H31. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	88	86	88	85	30,257	82.9
生活介護	92	94	92	93	24,162	66.2
共同生活援助（GH結）	4	4	5(1)	5(1)	1,727	4.7
共同生活援助（GHみのり）	4(1)	4(1)	5(1)	5(1)	1,903	5.2
共同生活援助（GHさくら）	4	4	5(1)	5(1)	1,800	4.9
共同生活援助（GHあおぞら）	4(1)	4(1)	5(1)	4(1)	1,752	4.8
共同生活援助（GHこまち）	6	6	6	6	2,073	5.7
共同生活援助（G彩）	4	4	0	-	713	2.0
短期入所	8	32	8	36	99	0.3
放課後等デイサービス	10	11	10	21	1,135	3.9

（ ）内はサテライト型住居利用者で別掲

種 別	H30. 4～H31. 3延件数
相談支援（児童含）	423
日中一時支援（短期入所型・放課後支援型）	280

2. 利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	7	19	30	56
女	0	0	0	0	1	13	15	29
計	0	0	0	0	8	32	45	85

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	13	14	27	1	0	1	0	56
女	8	7	12	2	0	0	0	29
計	21	21	39	3	0	1	0	85

（2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	3	0	0	2	4	1	1	11
女	8	0	3	1	1	4	1	18
計	11	0	3	3	5	5	2	29

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	3	6	2	0	0	0	11
女	5	6	6	1	0	0	0	18
計	5	9	12	3	0	0	0	29

秋田県心身障害者コロニー

① 行動障がい専用棟通所サービスの開始

- ・強度行動障がいに対応した専用の通所生活介護事業を開設し、あじさい棟にて7名（コロニー内から5名、在宅通所2名）が利用した。
- ・施設入所支援に向けたサービスを開始するため、建物の改築（強化ガラス交換等）やスプリンクラーを設置し、利用者の安全に配慮した。

② 高齢化対策とターミナルケア

- ・利用者の高齢化に伴い創生支援課、赤光支援課では、サービスの質の維持、向上を図るため日課の見直しを行い、リフレッシュ効果を高められるよう入浴にかける時間等を増やした。
- ・各課へタブレット端末、あじさい棟へはインカムを導入し、利用者情報伝達の迅速化を図った。また、介護量の増大を緩和するために介護支援ロボットの導入を検討した。
- ・診療所医師や医療機関等と情報共有を図りながら、ターミナルケアの利用者に対し、本人や家族の気持ちに寄り添い最期までその人らしく過ごすことができるように努めた。

③ 就労継続支援B型作業種の検討

- ・利用者の高齢化により作業能力の低下とともに、職員の専門技術の継承が難しく畜産部門を廃止した。
- ・新作業種開発として、小型家電リサイクル事業を検討し、平成31年度より本格的な活動を行うこととした。

④ 福祉人材の確保に向けた取組

- ・大切な人材との認識を高めてもらうため、契約職員が委員会に参画したり各種研修へ参加したりする機会を増やし、職員の資質向上を図った。
- ・由利本荘・にかほ圏域の中学校を訪問し、地域の働く場としての社会福祉施設をPRした。また、平成31年度に行う学校授業の一環として、中学校から福祉施設の講演依頼があった。
- ・アンテナショップである「歩人」を利用し、地域貢献活動のひとつとして、健康相談、菓子作り教室等を開催した。

⑤ サービス提供体制の見直し

- ・効果的で手厚いサービス提供を実施するために、施設再編（19寮→17寮）、定員変更（入所380人→360人）の検討を進め、平成31年度から実施することとした。

利用状況

1. 利用者数（契約者）

単位：人

種別	H30. 4. 1		H31. 4. 1		H30. 4～H31. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	380	362	360	356	127,808	350
生活介護	420	354	400	343	90,751	249
就労継続B型	70	63	70	61	14,868	43
共同生活援助（GHわかまつ）	6	6	6	6	2,172	6
共同生活援助（GHやすらぎ）	6	6	6	6	2,129	6
共同生活援助（GHそよかぜ）	4	4	4	4	1,453	4
共同生活援助（GHはまなす）	4	4	4	4	1,443	4
共同生活援助（GHまつかぜ）	6	6	6	6	2,163	6
共同生活援助（GHしおさい）	5	5	5	5	1,820	5
共同生活援助（GHなでしこA）	5	5	5	5	1,805	5
共同生活援助（GHなでしこB）	4	4	4	3	1,314	4
共同生活援助（GHかもめ）	5	5	5	5	1,804	5
短期入所	22	28	5	32	257	1

種 別	H30. 4～H31. 3延件数
日中一時支援	207

2. 利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	9	46	65	65	186
女	0	0	0	2	33	59	76	170
計	0	0	1	11	79	124	141	356

年齢	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	14	11	30	19	55	38	19	186
女	1	2	8	14	18	41	62	24	170
計	1	16	19	44	37	96	100	43	356

（2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	6	0	3	9	5	3	1	27
女	2	0	3	6	6	0	0	17
計	8	0	6	15	11	3	1	44

区分	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	1	4	5	8	6	2	27
女	1	1	1	2	6	6	0	17
計	2	2	5	7	14	12	2	44

3. コロニー診療所の利用状況

	年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
医 科	診療日数	242日	239日	193日	195日	203日
	延べ 受診者 数	利用者	13,222人	11,904人	10,361人	9,093人
		その他	264人	224人	142人	126人
		計	13,486人	12,128人	10,503人	9,219人
歯 科	診療日数	73日	80日	89日	60日	76日
	延べ 受診者 数	利用者	656人	707人	733人	525人
		その他	2人	0人	0人	0人
		計	658人	707人	733人	525人
計	診療日数	315日	319日	282日	255日	279日
	延べ 受診者 数	利用者	13,878人	12,611人	11,094人	9,618人
		その他	266人	224人	142人	126人
		計	14,144人	12,835人	11,236人	9,744人

由利本荘地域生活支援センター

① 総括的な福祉サービスの向上に向けた支援体制の整備と強化

- ・ 基幹相談支援センターを主軸に由利本荘市の相談・関係機関の連絡協議会及び研修の中で障害分野と老人福祉分野との交流を図り、利用者の高齢化に伴う情報の共有を図った。また、市町村を計画的に訪問し各種関係機関との連携のもと、ニーズに即したサービス提供に努めた。
- ・ 障がい特性に着目し安心できる環境整備を図った。他施設の視察・研修はもとより支援アドバイザーの助言を受け支援の充実に努めた。
- ・ 各種研修への参加を勧め、特に虐待防止については擬似体験型研修を行い支援を受ける立場を体験し支援体制の振り返りを行った。また利用者アンケート・虐待防止チェックリストを活用し、より現場に即した課題を拾い上げ支援改善の手がかりとした。
- ・ 放課後等デイサービス事業利用希望の増に伴い、第2事業所の確保に向けた準備を進め、平成31年4月1日から羽後本荘駅前に放課後等デイサービス事業所「ぐんぐん」を開所した。
- ・ 生活介護については、利用者の長期入院・退所に伴い収入が不安定であったが、相談支援事業との連携により回復に努めた。

② 水林事業所における事業促進と支援体制の整備と強化

- ・ 地域においても多種多様な福祉サービスの充実が進む中で、宿泊型自立訓練・自立訓練（生活訓練）の利用が著しく減少し、今年度で廃止した。
就労継続支援B型事業においては、収入増に向けて課題が残った。その一方で障害者就業・生活支援センターとの連携にて一般就労に繋がる支援が出来た。
- ・ グループホーム利用者の重度化・高齢化に伴い宿直職員配置を1箇所増やし、夜間の安全確保に努めた。ますます高齢化していく現状の中で今後も環境（支援人材・建物）の整備が望まれる。
- ・ サテライト型サービス利用者3名への支援を開始した。自立した生活に向け支援の充実、地域資源の活用等将来を見据えたチームアプローチ体制を整備中である。

③ 地域貢献活動

- ・ 放課後等デイサービスの行事に合わせて、発達等将来に関する不安や悩み等を伺う「バーベキュー交流会」を実施し、12家族41名の参加となった。子供同士の関わりで、初めて親同士（兄弟・姉妹）が交流する場面も見られた。現場の職員との情報交換も含め、相談支援専門員も参加し個別の相談にも対応できるよう配置した。
- ・ 幼少期の早い時期から保護者の不安を受け止めることが必要ではないかとの問題提起があり、次年度への取組み課題とした。

利用状況

1. 利用者数（契約者）

単位：人

種別		H30. 4. 1		H31. 4. 1		H30. 4～H31. 3	
		定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
生活介護		30	41	30	39	4,954	16.9
自立訓練（生活）		6	1	-	-	-	-
宿泊型自立訓練		10	4	-	-	-	-
就労継続B型		14	20	20	18	3,762	14.4
共同生活 援助	翼	4	4	4	4	1,422	3.89
	御門A	5	5	5	5	1,793	4.91
	御門B	5	5	5	5	1,752	4.8
	清和A	5	5	5	5	1,818	4.98
	清和B	6	5	6	5	1,794	4.91
	朋A	5	5	5	4	1,492	4.08
	朋B	5	5	5	5	1,808	4.95
	めぐみ	6	6	6	6	2,121	5.81
	菖蒲	6	6	6	6	2,130	5.83
	若菜	6	6	6	6	2,169	5.94
	三愛A	5	5	5	4	1,638	4.48
	三愛B	5	5	5	5	1,786	4.89
	虹	5	5	5	5	1,743	4.77
放課後等デイサービス		-	-	10	7	-	-
放課後等デイサービス・児童発達支援		10	37	10	31	2,826	9.64

種 別	H30. 4～H31. 3延件数
相談支援（児童含）	1,206
基幹相談支援センター	4,126

2. グループホーム利用者の状況（平成31年4月1日現在）

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	1	5	6	5	2	1	20
女	0	0	1	5	2	1	0	9
計	0	1	6	11	7	3	1	29

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	3	2	16	9	11	5	2	48
女	3	0	4	2	3	5	0	17
計	6	2	20	11	14	10	2	65

阿 桜 園

① 支援体制の確立と強化

- ・平成30年4月から福祉型障害児入所施設（定員50名）を福祉型障害児入所施設（定員5名）及び障害者支援施設（定員40名）へ運営形態を変更した。新たな支援体制の確立のため、利用者の身体機能や機能の変化、個々の特性を把握しながら、利用者本人の自主性を踏まえて日課等の見直しを行い、日中活動や生活の充実を図った。

② 共同生活援助事業所の支援体制の強化

- ・3棟（定員14名）のグループホームを1棟2ユニット（定員10名）へと再編し、快適で安心できる生活環境を維持するため、利用者と積極的に話し合う場を設け、支援体制の強化を図った。

③ 重度・高齢化への対応

- ・電動ギャジベッドを3台購入するとともに、クッション性のあるフロアマットの導入を計画的に行い、身体機能や認知機能の低下が著しい利用者の対応及び職員の介護の負担軽減を図った。
- ・午前の日課を利用し、各棟毎に機能低下及び転倒防止のための歩行・運動・機能訓練を実施した。また、利用者個々の身体状況を確認し、歩行器等の福祉機器の検討や再考を図った。

④ 人材育成

- ・新規職員等にOJTを中心とした研修を行うとともに、全職員を対象に介護技術・強度行動障がい・虐待防止研修等の専門的研修を定期的を実施することで、職員の専門的技術の習得や能力の向上を図った。

⑤ 安全対策

- ・天災による事象が多く、あらゆる災害などに対応できる体制を構築すべく様々な被害を想定し訓練を行った。また、本年度より初めて近隣の横手支援学校等と合同で避難訓練を行った。相互協力しながら避難することができたことは大きな成果であった。

⑥ 働きやすい職場づくり

- ・健康保持・増進や感染症予防の情報を朝の会等で定期的に職員に伝えた。また、産業医への報告や個別面談、けんぽ協会栄養士等との個別面談を通し、職員の健康への意識付けを図りながら、働きやすい職場づくりに努めた。

利用状況

1. 利用者数（契約者）

単位：人

種別	H30. 4. 1		H31. 4. 1		H30. 4～H31. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援(阿桜園)	70	70	70	67	24,022	65.8
施設入所支援（あざくら園）	40	39	40	39	13,593	37.2
生活介護(阿桜園)	75	75	75	72	18,828	54.1
生活介護（あざくら園）	40	37	40	39	10,083	29.6
生活介護（重症心身）	5	13	5	13	778	3.3
福祉型障害児入所	5	5	5	4	1,767	4.8
共同生活援助（GH希望Ⅰ）	5	5	5	4	1,700	4.7
共同生活援助（GH希望Ⅱ）	5	4	5	4	1,626	4.5
短期入所	4	9	4	6	145	0.4
児童発達支援	5	1	5	1	0	0
放課後等デイサービス（重度）		5		5	115	0.5
放課後等デイサービス	10	13	10	17	1,912	7.2

種 別	H30. 4～H31. 3延件数
相談支援（児童含）	349
日中一時支援	287
障害児等療育支援	391

2. 利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	1	13	24	38	76
女	0	0	0	0	4	7	19	30
計	0	0	0	1	17	31	57	106

年齢	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	4	8	22	17	16	7	5	0	79
女	1	6	5	5	4	4	4	2	31
計	5	14	27	22	20	11	9	2	110

障害児も含む

（2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	2	0	0	2	0	0	0	4
女	0	0	0	2	0	2	0	4
計	2	0	0	4	0	2	0	8

年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	2	1	0	1	0	0	0	4
女	0	0	2	0	1	0	1	4
計	2	1	2	1	1	0	1	8

やまばと園

① 指定管理者への応募

- ・次期指定管理（平成31年度～）について、湯沢雄勝広域市町村圏組合及び法人本部と連絡を取りながら応募した結果、これまでの施設運営状況については良好との評価を受け、第四期指定管理者として指定された。

② 特殊浴槽の設置及び浴室の改修工事計画

- ・利用者の重度高齢化に対応すべく、特殊浴槽について業者による事前設計を行ったが、予定した場所が想定より狭小であるため、該当する機種や動線の問題が生じ、設置後の安全な使用が困難との結論に達し再検討とした。
- ・浴室についてはトイレの改修も含めた施設全体の将来を見据える必要があり、特殊浴槽の設置と合わせて設計段階から湯沢雄勝広域市町村圏組合と協議していくことになった。

③ 「園の理念」の実現を目指した取組み

- ・各部署での申し送りの際に唱和を奨励し、その内容を深く理解できるように努めた。

④ 利用者の権利擁護について意識高揚

- ・権利擁護と合わせて虐待防止について研修を行った。同時に関連のある接遇マナーについても研修を行った。
- ・県の主催する障害者虐待防止・権利擁護研修に受講者を参加させ、伝達研修を行うことで、職員個々に対して虐待に関する注意喚起と利用者の権利擁護についての意識の高揚を図った。

⑤ ヒヤリハットの報告・検証の徹底

- ・発生した事案については迅速な報告を求め、関係者による周知と検証を行った。その結果、支援方法の適正化が図られ問題は減少傾向にある。
- ・設備的な問題については、園の担当委員会によるアセスメントを行い、優先順位をつけて改善につなげている。

⑥ 接遇マナーの習得と意識付けの徹底

- ・上記の研修の他、利用者及び家族からの申し出や苦情については、真摯に受け止め経緯や要因を検証した。結果については申し送りや会議の場で職員に伝えた。

利用状況

1. 利用者数（契約者）

単位：人

種別	H30. 4. 1		H31. 4. 1		H30. 4～H31. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	60	60	60	60	20,713	56.7
生活介護	50	69	50	70	15,654	42.9
就労継続B型	10	9	10	9	1,969	7.9
共同生活援助（GHぱってりー）	5	5	5	5	1,750	4.8
短期入所	8	6	8	5	302	0.8
放課後等デイサービス	10	23	10	22	2,421	10.0

種 別	H30. 4～H31. 3延件数
相談支援（児童含）	300
日中一時支援	332
障害児等療育支援	233

2. 利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	2	10	15	12	39
女	0	0	0	6	4	6	5	21
計	0	0	0	8	14	21	17	60

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	8	8	17	1	3	2	0	39
女	1	7	7	1	4	1	0	21
計	9	15	24	2	7	3	0	60

（2）グループホーム

区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	1	2	2	0	5
女	-	-	-	-	-	-	-	0
計	0	0	0	1	2	2	0	5

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	3	0	0	0	1	0	5
女	-	-	-	-	-	-	-	0
計	1	3	0	0	0	1	0	5

秋田県身体障害者更生訓練センター

① 改築移転に向けた取組

- ・訓練センターでの営業終了及び移転後の営業開始に向け、内部の片付け、新購入物品の納入・運搬搬入、利用者の私物整理、業務委託業者現場確認、契約書や重要事項説明書等の書類整理等、スケジュールに沿って滞りなく行った。また、新センターでナースコール、非常放送設備及びボイラー設備等の説明会を実施した。
- ・平成31年3月に竣工式及び内覧会を行い、104名が新センターの見学を行った。
- ・新センターへの利用者募集を行い、申込者への事前面接及び利用調整会議を行った結果、29名が入所見込みとなった。そのうち、訓練センターから移行する利用者12名については、平成31年3月29日に引越しを終了した。
- ・相談支援事業所については、高清水園相談支援事業所との統合に向けて、利用者・家族、市町村、関係事業所への説明を行った。また、契約の取り交わしや受給者証の事業所変更等を順次行い、スムーズな移行につなげた。

② 在宅者向け入浴サービス

- ・新センターの利用者募集と併せ、訓練センターにおける入浴サービスについてもPRに努めたが、実際の利用には結びつかなかった。しかし、移転後に短期入所等により入浴サービスを受けてみたい、という問い合わせは多く寄せられたことから、次年度はそれらの要望を踏まえ、実際の受入れに向けた取り組みを進める。

③ 他事業所への体験研修

- ・法人外の3事業所から協力を得て、支援課全職員が体験研修（職員1名につき2日間）を行った他、前年度より引き続き高清水園への体験研修（職員1名5日間）を企画・実施した。身体障がい及び知的障がいと身体障がいを併せ持った方への具体的な支援方法や支援上の留意点等について学びを深めた。

④ 日中活動企画の継続

- ・平成30年6月～9月にかけて、全利用者に参加してもらうことを前提に日中活動を企画した。結果、6コース（セリアコース、ヤマダ電機コース、ゼビオコース、ユニクロコース、ツタヤコース、ガラス工房見学コース）を複数回設定し、利用者延べ23名が参加した。
今年度は買い物支援に焦点を当て、利用者の意向が反映されるよう、事前に聞き取りを行った上で店舗の選定等を行った。また、ガラス工房の見学等、地域の社会資源の活用にも努めた。
下半期は新センター移転に向けた動きがあることから、上半期の限られた期間での実施となった。利用者からは、遠方の社会資源を利用してみたいとの意見が上がったため、次年度以降の取り組みに活かしたい。

利用状況

1. 利用者数（契約者）

単位：人

種別	H30. 4. 1		H31. 4. 1		H30. 4～H31. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	40	16	40	13	4,579	12.5
生活介護	40	26	40	16	4,380	16.3
自立訓練（機能）	20	6	—	—	483	1.8
短期入所	2	4	2	9	67	0.09

種 別	H30. 4～H31. 3延件数
相談支援（児童含）	357
日中一時支援	7

2. 利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	4	5	2	11
女	0	0	0	0	2	0	0	2
計	0	0	0	0	6	5	2	13

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	1	2	8	0	0	11
女	0	1	0	0	1	0	0	2
計	0	1	1	2	9	0	0	13

秋田県点字図書館

① 利用状況

- ・平成30年度末の個人登録者数は704名で前年度より微減となった。
- ・貸出は、点訳図書と音訳図書は近年申込みが減っており、貸し出し数の減少が続いている。30年度においても点字図書、音訳図書が昨年度と同様に大きく減少した。デイジー図書は増となっている。サピエからのテキストデイジーのダウンロード数は大きく増えている。
- ・定期刊行物は自館の製作のみならず、購入や他館の製作を含めて43タイトルを延べ9,735人に提供した。
- ・プライベートサービス等を利用するために来館する方があるほかに、多くは奉仕者グループ等による勉強会や研修会、図書製作活動に利用された。

② 奉仕員の養成等

- ・点訳及び音訳奉仕員養成講座を実施し13名が修了した。併せて前年度修了者に対し、修了後の指導助言を行い育成に努めた。
- ・デイジー図書編集奉仕員養成講座を実施し、7名が修了した。
- ・点訳図書、デイジー図書の自館作成数は前年度より微減となっているが、奉仕員の活動によりコンスタントに製作されている。テキストデイジーは製作をしているものの、貸出可能の蔵書としては扱っていないが、利用者自身によるダウンロードが延べ3,900回を超え、前年度より増えている。
- ・テレフォンニュースやレファレンス等の情報提供は、図書に限らない提供を心がけた。
- ・点字図書館登録外の県内ボランティアグループの勉強会からの依頼について、講師の派遣や技術指導等の協力を行った。

③ 点字図書館のPRと関係機関との連携

- ・小学生の点字学習（4校）への協力と中学生の職場体験（1校）を受け入れた。
- ・地域の民生児童委員協議会等5団体の視察体験を受け入れた。
- ・秋田市（8名）と大館市（6名）において利用者懇談会を開催した。
- ・新聞社の取材を受け、「夏休み点字図書館探検」を紹介する機会を得た。
- ・点字図書館のPRと点字普及活動を兼ねたイベントの「夏休み点字図書館探検」には小学生40名、大人29名が、「プチッと点字体験」は7回の開催で215名が参加した。児童の総合学習の補完と県民への啓発をすることができた。
- ・「秋田県図書館等連絡会」、「秋田県版スマートサイト推進委員会」、「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例制定に向けての意見交換会」、「小中学生向け障害理解教室（仮称）打合せ会」等へ参画する機会を利用して当館の情報提供を行った。
- ・県生涯学習センターの実践コース「点訳ボランティアになろう」に、当館の点訳奉仕員を講師に、また、視察と点字の基礎の講話等の協力を行った。

利用状況

1. 図書受入状況

平成30年4月～平成31年3月

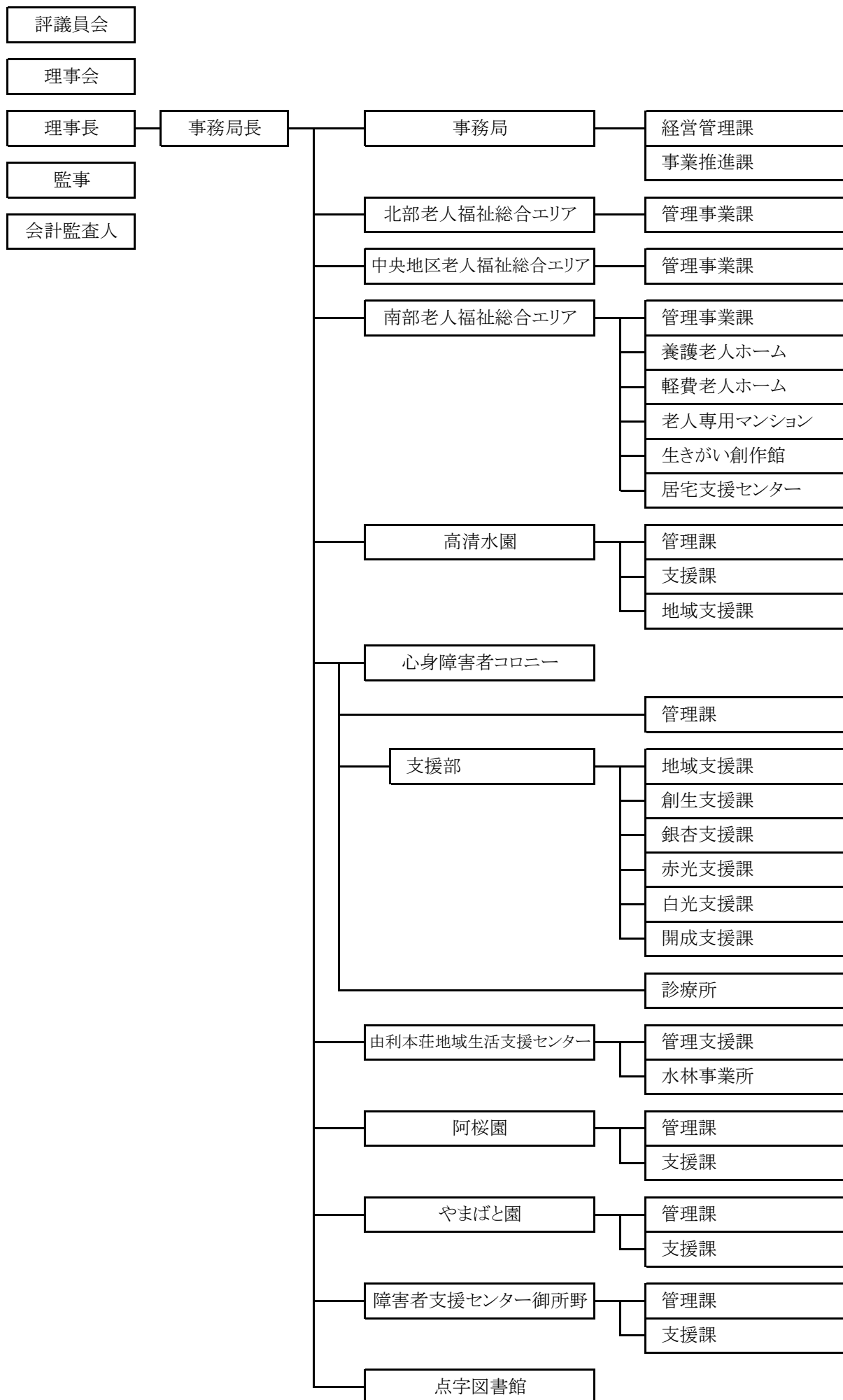
区分	点字図書		テープ録音図書		デイジー図書		テキストデイジー		合 計		タイトル 構成比
受 入 先	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
厚生省委託	45	91	0	0	60	60	0	0	105	151	28.15%
自 館 製 作	145	572	0	0	87	87	26	26	258	685	69.17%
複 製	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
購 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
寄 贈	0	0	0	0	10	10	0	0	10	10	2.68%
計	190	663	0	0	157	157	26	26	373	846	100.00%

2. 分類別貸出状況

区 分 受 入		点字図書 (含、FD)		録音図書 (テープ)		音声デイジー (CD)		テキストデイジー (CD)		合計		タイトル 構成比
		タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
0	総 記	3	16	3	27	37	37	0	0	43	80	0.63%
1	哲 学	11	26	7	42	137	137	0	0	155	205	2.28%
2	歴 史	10	36	9	75	129	129	0	0	148	240	2.18%
3	社 会 科 学	19	80	10	66	165	167	0	0	194	313	2.86%
4	自 然 科 学	22	76	6	44	142	142	0	0	170	262	2.50%
5	技 術	3	7	1	8	32	32	0	0	36	47	0.53%
6	産 業	3	10	2	13	19	19	0	0	24	42	0.35%
7	芸 術	4	16	8	45	109	109	0	0	121	170	1.78%
8	言 語	1	3	2	13	30	30	0	0	33	46	0.49%
9	文 学	221	874	200	1,695	5,448	5,466	0	0	5,869	8,035	86.40%
合計		297	1,144	248	2,028	6,248	6,268	0	0	6,793	9,440	100.0%

1. 組織

平成31年4月1日現在



2. 施設の概要

平成31年4月1日現在

種別	施設名	所在地	主なサービス	設置形態	定員
老人福祉総合エリア	秋田県北部老人福祉総合エリア	大館市	コミュニティーセンター	指定管理	
	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	コミュニティーセンター	指定管理	
	秋田県南部老人福祉総合エリア	横手市	コミュニティーセンター	指定管理	
			養護老人ホーム	無償賃借	50
			軽費老人ホーム（特定含）	無償賃借	50
			老人専用マンション	指定管理	24
			居宅支援センター	指定管理	
障害児者支援施設	高清水園	秋田市	施設入所支援事業	無償譲受	88
			生活介護事業	無償譲受	92
			放課後等デイサービス	無償譲受	10
			グループホーム（5ヵ所）	民間賃借	30
	秋田県心身障害者コロニー	由利本荘市	施設入所事業	無償賃借	360
			生活介護事業	無償賃借	400
			就労継続支援事業B型	無償賃借	60
			グループホーム（9ヵ所）	民間賃借	45
			診療所	無償賃借	
	由利本荘地域生活支援センター	由利本荘市	生活介護事業	自主設置	30
			就労継続支援事業B型	無償譲受	20
			児童発達支援事業	自主設置	10
			放課後等デイサービス	自主設置	
			放課後等デイサービス	自主設置	10
			グループホーム（13ヵ所）	自主設置 民間賃借	68
	阿桜園	横手市	施設入所支援事業	無償譲受	110
			生活介護事業	無償譲受	120
			福祉型障害児入所施設	無償譲受	5
			児童発達支援事業	無償譲受	5
			放課後等デイサービス（重心）	無償譲受	
			放課後等デイサービス	無償譲受	10
			グループホーム（2ヵ所）	民間賃借	10
	湯沢雄勝広域市町村組合やまばと園	湯沢市	施設入所支援事業	指定管理	60
			生活介護事業	指定管理	50
			就労継続支援事業B型	指定管理	10
			放課後等デイサービス	指定管理	10
			グループホーム（1ヵ所）	民間賃借	5
	障害者支援センター御所野	秋田市	施設入所支援事業	自主設置	40
			生活介護事業	自主設置	40
視覚障害者情報提供施設	秋田県点字図書館	秋田市	図書貸出・制作	指定管理	

3. 施設のサービス利用状況

利用者は各年4月1日現在の契約者数 件数は年間の延べ件数

障害者

1 介護給付

施設名	施設入所				生活介護				短期入所			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31
高清水園	88	88	86	85	92	92	94	93	8	8	32	36
心身障害者コロニー	380	360	362	356	420	400	354	343	22	5	28	32
由利本荘支援センター	—	—	—	—	30	30	41	39	—	—	—	—
阿桜園	110	110	109	106	120	120	125	124	4	4	9	6
やまばと園	60	60	60	60	50	50	69	70	8	8	6	5
支援センター御所野	40	40	16	13	40	40	26	16	2	2	4	9
合計	678	658	633	620	752	732	709	685	44	27	79	88

支援センター御所野はH30まで身体障害者更生訓練センター

2 自立訓練

施設名	生活訓練				宿泊型自立訓練				機能訓練			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31
由利本荘支援センター	6	—	1	—	10	—	4	—	—	—	—	—
支援センター御所野	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	6	—

3 就労継続支援

施設名	就労継続支援B型			
	定員		利用者	
	H30	H31	H30	H31
心身障害者コロニー	70	70	63	61
由利本荘支援センター	14	20	20	18
やまばと園	10	10	9	9

4 地域生活支援

施設名	日中一時支援				日中一時支援(放課後型)				障害児等療育支援			
	定員		利用件数		定員		利用件数		定員		利用件数	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
高清水園	8	8	82	126	10	10	557	154	—	—	—	—
心身障害者コロニー	22	5	259	207	—	—	—	—	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	36
阿桜園	4	4	237	287	—	—	—	—	16	16	421	391
やまばと園	8	8	514	332	—	—	—	—	12	12	160	352
支援センター御所野	2	2	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—

5 相談支援

施設名	相談件数	
	H29	H30
高清水園	397	423
由利本荘支援センター	1,221	1,206
阿桜園	363	349
やまばと園	247	300
支援センター御所野	433	357

6 居住支援(共同生活援助)

施設名	ホーム名	グループホーム				サテライト型利用			
		定員		利用者		定員		利用者	
		H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31
高清水園 6カ所	結みのり	4	5	4	5		1		1
	さくら	4	5	4	5	1	1	1	1
	あおぞら	4	5	4	4	1	1	1	1
	こまち	6	6	6	6	—	—	—	—
	彩	4	—	4	—	—	—	—	—
心身障害者コロニー 9カ所	わかまつ	6	6	6	6	—	—	—	—
	やすらぎ	6	6	6	6	—	—	—	—
	そよかぜ	4	4	4	4	—	—	—	—
	はまなす	6	6	6	6	—	—	—	—
	まつかぜ	5	5	5	5	—	—	—	—
	しおさい	5	5	5	5	—	—	—	—
	なでしこA	5	5	5	5	—	—	—	—
	なでしこB	4	4	4	3	—	—	—	—
	かもめ	5	5	5	5	—	—	—	—
由利本荘支援センター 13カ所	翼	4	4	4	4	—	—	—	—
	御門A	5	5	5	5	—	—	—	—
	御門B	5	5	5	5	—	—	—	—
	清和A	5	5	5	5	—	—	—	—
	清和B	6	6	5	5	—	—	—	—
	朋A	5	5	5	4	—	—	—	—
	朋B	5	5	5	5	—	—	—	—
	めぐみ	6	6	6	6	—	—	—	—
	菖蒲	6	6	6	6	—	—	—	—
	若菜	6	6	6	6	—	—	—	—
	三愛A	5	5	5	4	—	—	—	—
	三愛B	5	5	5	5	—	—	—	—
	虹	5	5	5	5	—	—	—	—
阿桜園	希望	10	10	9	8	—	—	—	—
やまばと園	ぱってりー	5	5	5	5	—	—	—	—
合計	30カ所	155	155	153	148	2	4	2	4

障害児

施設名	施設入所支援				放課後等デイサービス・児童発達支援				重症心身放課後等デイサービス等			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31
高清水園	—	—	—	—	10	10	11	21	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	10	20	37	38	—	—	—	—
阿桜園	5	5	5	4	10	10	13	17	5	5	6	6
やまばと園	—	—	—	—	10	10	23	22	—	—	—	—

高齢者

施設名	養護老人ホーム				軽費老人ホーム				老人専用マンション			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31
南部老人福祉エリア	50	50	49	48	50	50	46	46	24	24	7	4

4. 役員等

平成31年4月1日現在

(1) 評議員

氏 名	役 職 名
遠 藤 博 之	地方独立行政法人 秋田県立療育機構理事長
伊 藤 英 紀	社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長
高 橋 精 一	公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会会長
高 島 幹 子	公益社団法人 秋田県看護協会会長
柴 田 博	秋田看護福祉大学福祉学科教授
和 田 士 郎	一般社団法人 秋田県社会福祉士会会長
尾 留 川 等	社会福祉法人 つるまい福祉会 理事
木 村 里 美	社会福祉法人 秋田けやき会 ケアハウスウエルハウス御所野施設長
神 谷 長 一	阿桜園保護者会会長

任期 平成29年6月15日 ～ 平成33年6月定時評議員会

(2) 理事

氏 名	役 職 名
熊 谷 淳	元秋田県人事委員会事務局長
柴 田 一 宏	弁護士
太 田 春 海	秋田県民生児童委員協議会長
高 橋 美 岐 子	日本赤十字秋田短期大学特任教授
高 橋 清 好	社会福祉法人秋田県社会福祉協議会常務理事
木 村 盛 郎	前秋田県社会福祉事業団事務局長
小 澤 久 範	前秋田県心身障害者コロニー管理者
小 野 崎 和 司	秋田県南部老人福祉総合エリア管理者

任期 平成29年6月15日 ～ 平成31年6月定時評議員会

(3) 監事

氏 名	役 職 名
田 中 政 博	元秋田市財務部長
戸 嶋 正	元秋田県阿桜園長

任期 平成29年6月15日 ～ 平成31年6月定時評議員会

(4) 会計監査人

法人名	所在地
有限責任監査法人トーマツ	東京都港区二丁目15番3号

任期 平成29年6月15日 ～ 平成31年6月定時評議員会

5. 会議等

(1) 評議員会

開催年月日	出席者数		決 議 事 項
	評議員	理事	
平成30年6月25日	7	1	1 平成29年度事業報告及び決算について 2 理事の選任について 3 会計監査人の選任について
平成31年3月20日	8	1	1 定款の一部変更について

(2) 理事会

開催年月日	出席者数		決 議 事 項
	理事	監事	
平成30年5月15日	8	2	1 (仮称)障害者支援センター御所野の新築工事契約について
平成30年6月5日	8	2	1 平成29年度事業報告及び決算について 2 理事の選任について 3 会計監査人の選任及び報酬について 4 定時評議員会の開催について
平成30年7月31日	8	2	1 評議員の推薦について
平成30年10月2日	8	1	1 平成30年度第1次補正予算について 2 有期雇用准職員就業規則の一部改正について
平成31年1月24日	6	2	1 平成31年度人材確保・給与の見直しについて 2 職員給与規則の一部改正について 3 組織規則の一部改正について 4 職員就業規則の一部改正について 5 継続雇用職員就業規則の一部改正について
平成31年3月8日	7	2	1 定款の一部変更について 2 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について 3 公印取扱規則の一部改正について 4 文書取扱規則の一部改正について 5 職員給与規則の一部改正について 6 有期雇用准職員就業規則の一部改正について 7 無期雇用准職員就業規則の一部改正について 8 旅費規則の一部改正について 9 会計規則の一部改正について 10 事務決裁規則の一部改正について 11 平成30年度第2次補正予算(案) 12 平成31年度事業計画(案) 13 平成31年度当初予算(案) 14 施設長の任命について 15 障害者支援センター御所野の工事請負契約の変更について

(3) 監事の監査

開催年月日	内 容
平成30年6月1日	平成29年度事業の執行状況及び収支決算状況について

(4) 会計監査人の監査

開催年月日	実施箇所	内 容
平成30年6月1日	事 務 局	平成29年度事業執行及び決算
平成30年5月7日 ～5月11日	各 施 設	各施設(会計拠点区分)の期末監査
平成30年11月27日 ～31年3月1日		各施設(会計拠点区分)の期中監査

6. 職 員

1. 職員の配置状況

平成31年4月1日現在

区 分	正 職 員	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
事 務 局	11	0	0	1	12
北 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	5	1	5	4	15
中 央 地 区 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	6	0	5	6	17
南 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	23	2	28	24	77
高 清 水 園	37	1	18	31	87
心 身 障 害 者 コ ロ ニ ー	120	10	72	59	261
由 利 本 荘 地 域 生 活 支 援 セ ン タ ー	14	5	11	39	69
阿 桜 園	43	3	25	38	109
や ま ば と 園	22	0	17	18	57
障 害 者 支 援 セ ン タ ー 御 所 野	17	0	3	5	25
点 字 図 書 館	1	1	3	3	8
計	299	23	187	228	737

区 分	正 職 員	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
施 設 長 等	11	2	0	0	13
課 長	22	0	0	0	22
事 務 員	31	1	22	14	68
支 援 員	185	19	116	142	462
保 健 師 ・ 看 護 師	18	1	0	6	25
栄 養 士	7	0	0	1	8
理 学 療 法 士	1	0	0	0	1
技 師	24	0	12	20	56
世 話 人	0	0	18	15	33
宿 直 専 門 員	0	0	11	18	29
そ の 他	0	0	8	12	20
計	299	23	187	228	737

2. 職員数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
正 職 員	290	290	298	304	299
継 続 雇 用 職 員	16	21	22	19	23
無 期 契 約 職 員	—	—	—	—	187
有 期 契 約 職 員	430	439	438	437	228
計	736	750	758	760	737

7. 研修の実施状況

1 法人研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月19～20日 (2日間)	新任職員研修(平成30年度新規採用職員等)	秋田大学講師 ほか	15人
5月13日	管理職員研修(リーダーシップ研修)	(株)インソース 大西 雄一 氏	24人
6月12日	中堅等職員研修(チームビルディング研修)	(株)インソース 中原 和征 氏	23人
8月7日	新任職員研修	清水園職員 ほか	30人
11月1日	准職員研修	秋田県障害者スポーツ協会職員 ほか	28人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月10日	ケアマネジメント研修	NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	20人
8月9日	世話人研修	由利本荘市障がい者基幹相談支援センター職員 ほか	31人
12月17日	実践発表会		法人外 31人 合計 93人
	実践報告1「秋田県心身障害者コロニーにおける高齢化の現状とその取り組みについて～その人らしい生活をめざして～」	心身障害者コロニー 主事 猪股 めぐみ	
	実践報告2「地域生活支援のこれから」	由利本荘地域生活支援センター 水林事業所 所長補佐 三浦 智幸	
	講評・助言	秋田大学教育文化学部 こども発達・特別支援講座 講師 鈴木 徹 氏	
	基調講演「それぞれの思いをかたちにする支援」	日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿 氏	

② 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
8月30日	福祉の森操作研修	株式会社日立システムズ職員	27人
3月5日	平成31年4月1日付け新規採用内定者に対する事前研修	株式会社ビィ・ウィズ 中安 留美 氏 ほか	18人

(3) 秋田県からの委託研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月10～11日	強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】	潟上天王つくし苑 高橋 義武 氏 ほか	126人
10月3～4日	強度行動障害支援者養成研修【実践研修】	後三年鴻声の里 安藤 拓哉 氏 ほか	101人
11月14～15日	障害者虐待防止・権利擁護研修	秋田市福祉健康部障がい福祉課 鎌田 裕 氏 ほか	108人

法人事務局

1 法人外研修

(1) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月23日	全国社会福祉法人経営者協議会社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	全国経営協制度・政策委員会 ほか	1人
6月26～27日	福利厚生センター・福利協会広報誌講習会	株式会社インソース 釋 左枝 氏	1人
7月6日	独立行政法人福祉医療機構社会福祉施設経営実務セミナー ー地域共生社会の実現と社会福祉法人改革ー	厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官 玉置 隼人 氏 ほか	1人
8月3日	全国社会福祉事業団協議会社会福祉法人会計に関する研修	公認会計士 亀岡 保夫 氏	1人
9月3～4日	全国グループホーム等研修会	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐 菊池 芳久 氏 ほか	1人
9月16日	どんなに障がいが高くとも自分らしく生きるために大切な相談支援～本人中心の社会モデルで支えていく視点～	日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿 氏	3人
10月19日	社会福祉法人会計セミナー～社会福祉法人の計算関係書類作成上の留意点～	公認会計士・税理士 神原 正明 氏	1人
11月5～6日	日本公認会計士協会東北会社会福祉法人研修会	公認会計士 吉岡 浩二 氏	1人
11月8～9日	北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修Ⅰ	mizuiro株式会社 代表取締役 木村 尚子 氏 ほか	2人
11月21日 11月26日	社会福祉法人会計実務者研修会（初級・中級クラス）	日本公認会計士協会東北会秋田県会公認会計士 鈴木 森 氏 ほか	1人
12月7日	独立行政法人福祉医療機構社会福祉施設経営実務セミナー ー社会福祉法人会計における適切な会計処理と経営活用を目指してー	独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンターシニアリサーチャー 千葉 正展 氏 ほか	1人
12月19日	社会福祉法人会計決算実務者研修会	秋田県健康福祉部福祉政策課監査・援護班 副主幹 堀内 幸一 氏 ほか	1人
2月8～10日	アメニティーフォーラム23	特定非営利活動法人自閉症eサービス 代表 中山 清司 氏 ほか	2人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月29～31日 6月1日	強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践研修）指導者研修（オブザーバー）	国立のぞみの園職員 ほか	1人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月29日	平成30年度第1回福祉サービスに関わる苦情解決研修会	株式会社インソース 長澤 敦志 氏	1人
7月17日	企業向けインターンシップセミナー	株式会社マイナビパートナー講師 平尾 英治 氏 ほか	3人
9月21日	秋田県広域災害福祉支援ネットワークセミナー	東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築 光一 氏 ほか	1人

秋田県北部老人福祉総合エリア

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月4日	転任職員研修	北部老人福祉総合エリア職員	1人
5月28～31日	新任職員研修		1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
11月19日	3エリア合同研修	株式会社インソース 藤田 美代子 氏	9人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
7月12日	交通安全運転管理者講習会	大館警察署長 ほか	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月3日	新任職員研修（転任者・新規准職員）	中央地区老人福祉総合エリア職員	2人
7月19日	人事考課伝達研修		1人
10月16日	新任職員研修（新規准職員）		1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
10月1日	3エリア合同ビジネスマナー研修	株式会社インソース 藤田 美代子 氏	14人
毎月1回	伝達研修（5分間スピーチ）		17人

② 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
1月23日	普通救命講習 I	秋田南消防署 救急救命士 藤澤 氏	6人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月11日	交通安全運転管理者法定講習会	秋田県警察署交通課職員 ほか	1人
10月25日	防火管理者再講習会	日本防火・防災協会	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員

秋田県南部老人福祉総合エリア

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月11日	新任職員・転任職員・准職員オリエンテーション	南部老人福祉総合エリア職員	5人
6月13日	新任准職員オリエンテーション		1人
6月15日	新任准職員オリエンテーション		1人
1月25日	転任職員・新任准職員オリエンテーション		3人

(2) 特別研修

① 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
12月25日	メンタルヘルス研修	秋田産業保健総合支援センター 寺田 誠 氏	8人
1月16日	身体拘束等に関する研修	南部老人福祉総合エリア職員	21人
1月29日	身体拘束等に関する研修		21人

② 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月9日	防災機器・福祉車両等操作方法研修	南部老人福祉総合エリア職員	6人
6月5日	普通救命講習 I	横手市消防署員	12人
6月28日	感染症予防研修	南部老人福祉総合エリア職員	25人
7月5日	感染症予防研修		25人
10月4日	不審者対応研修	横手警察署員	6人
11月1日	認知症介護基礎研修	南部老人福祉総合エリア職員	7人
11月20日	視察研修	点字図書館、高清水園	9人
12月6日	感染症予防研修	市立横手病院感染管理認定看護師 小川 伸 氏	11人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
7月24～25日	福祉保健施設・事業者等職員中堅研修Ⅰ（組織性）	C&P, etc(シー・アット・ピー・エス・エフ) 代表 尾崎 真三 氏	1人
8月21日	施設等相談援助職員研修	尚絅学院大学 総合人間科学部 教授 安田 勉 氏	1人
8月31日	職種別研修会(介護支援専門員)	横手市地域包括支援センター職員	2人
10月4～6日	サービス提供責任者研修	日本ホームヘルパー協会	1人
10月15日	秋田県個別ケアに関する事業所管理者研修	一般財団法人日本ユニットケア推進センター センター長 秋葉 都子 氏 ほか	2人
11月5～6日	秋田県老人福祉施設長研修Ⅰ	秋田県健康福祉部長寿社会課介護保険班 副主幹兼班長 後藤 富美夫 氏 ほか	1人
11月14日	横手市相談支援専門員・ケアマネジャー合同研修	横手市社会福祉課、高齢ふれあい課、地域包括 支援センター	2人
11月30日	ケアマネジメント研修	横手市高齢ふれあい課	2人
12月8日	介護認定審査委員研修及び主治医研修会	熊谷内科医院 院長 熊谷 肇 氏 ほか	1人

(2) 特別研修

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
11月30日	高齢者虐待防止セミナー	千秋パーク法律事務所 弁護士 藤原美佐子 氏 ほか	1人
12月3日	高齢者虐待防止セミナー	千秋パーク法律事務所 弁護士 藤原美佐子 氏 ほか	1人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
4月6日	横手市ブロック老人福祉施設連絡協議会総会		2人
4月27日	平成30年度秋田県老人福祉施設協議会総会		2人
5月24日	安全運転管理者法定講習会	横手警察署員	1人
5月31日	感染症の予防について	横手市保健所 保健師・研修医	1人
6月8日	福利厚生センター接遇研修会	トータルマナー株式会社 代表取締役 田野 直美 氏	1人
6月13日	皮膚ケアについて	市立大森病院皮膚・排泄ケア認定看護師 照井 未来子 氏	7人
6月20日	認知症介護基礎研修	秋田県認知症介護指導者	1人
6月26日	産業保健セミナー	斉藤産業衛生事務所 所長 斉藤 元一 氏	1人
6月26～27日	福利厚生センター・福利協会広報誌講習会	株式会社インソース 釋 左枝 氏	1人
6月27日	食中毒について	横手市保健所職員	2人
6月27日	認知症勉強会	福嶋内科医院 院長 福嶋 隆三 氏	8人
7月19日	熱中症とその対策について	仙南診療所 所長 照井 哲 氏	2人
9月4日	腰痛予防研修	理学療法士 菅原 巳代治 氏	8人
9月12日	カウンセリング研修会	寺田心理教育研究所 所長 寺田 誠 氏	2人
9月14日	第2回看護連携交流会	平鹿総合病院緩和ケア認定看護師 奥山 奈穂子 氏	1人
10月5日	治療と仕事の両立支援に関する講習会	地方独立行政法人市立秋田総合病院 理事長 小松 真史 氏	1人
10月29日	介護予防支援従事者研修	特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会	1人
11月9日	福わらい研修	株式会社シルバー産業新聞社 編集部課長 橋村 寿人 氏 ほか	1人
11月19日	介護記録の理解と実践(応用コース)	介護老人保健施設 西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 氏	1人
1月15日	働き方改革関連法セミナー	秋田労働局雇用環境・雇用均等室	2人

高 清 水 園

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月17日	新任職員研修	高清水園職員	4人
4月17日	障害者虐待防止・権利擁護研修		
4月17日～ 5月11日	新任・転入職員DVD研修		4人
4月17日 4月19日	防災設備・消防設備研修	高清水園職員	10人
7月10～20日	自閉症の理解に関する研修（基礎知識）		37人
8月14～16日	福祉サービスの基礎知識について		11人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
8月29～31日	てんかんの基礎的理解①②	高清水園職員	10人
10月12日 12月7日	被支援体験者研修①②		20人
11月27日	利用者の健康管理と疾病		11人
12月18日	感染症予防研修		11人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月26日～ 8月19日	法人内視察研修（点字図書館ほか）	点字図書館職員 ほか	10人
10月12日	成年後見制度研修	権利擁護センターばあとなあ秋田 近藤 浩 氏	13人
10月19～29日	虐待防止・権利擁護研修	高清水園職員	70人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
11月15日	救急救命講習	秋田南消防署員	14人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
7月12～13日	秋田県社会福祉協議会「研修担当職員研修」	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
8月24～25日	福祉保健施設・事業所等職員新任研修	ウエルビューいずみ障害者福祉サービス センター 施設長 佐々木 宏幸 氏 ほか	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月6～7日	東北地区知的障害者福祉協会総会基調講演	日本女子大学教授 久田 則夫 氏 ほか	1人
6月9日～ 10月27日(計10回)	ペアレント・トレーニング	紫波の子育てを支援する会あれんと	3人
7月2～3日	全国知的障害者関係施設長等会議基調講演	筑波大学 人間系 教授 小澤 温 氏 ほか	1人
7月4～6日	知的障害支援者専門研修会	一般社団法人 川崎市自閉症協会 代表理事 明石 洋子 氏 ほか	1人
8月3日	全事協社会福祉法人会計に関する研修	公認会計士 亀岡 保夫 氏	1人
8月23～24日	宮城県知的障害者福祉協会 サービス管理責任者等スキルアップ研修	アスム療育・研修センター 臨床心理士 猪又 初恵 氏 ほか	1人
9月20～21日	東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	大正大学人間学部社会福祉学科 教授 沖倉 智美 氏 ほか	1人
10月31日	強度行動障害支援者養成研修実践報告会	社会福祉法人三徳会サポートセンター ハロハロ 服部 敏寛 氏 ほか	1人
11月8～9日	東北地区障害者福祉協会東北フォーラム	北海道ハローenjoy 総合施設長 橘 文也 氏	2人
11月14～16日	全国知的障害者福祉関係職員研究大会	埼玉大学教育学部 准教授 宗澤 忠雄 氏 ほか	1人
12月1～2日	加藤潔氏と学ぶ自閉症研修2018	国立リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 加藤 潔 氏	3人
1月30～31日	第7回障害者支援施設部会全国大会(東北地区岩手大会)	国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 事業企画部 次長 古川 慎治 氏 ほか	2人
2月8～10日	第23回アメニティフォーラム	特定非営利活動法人自閉症 e サービス 代表 中山 清司 氏 ほか	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月28～29日	(視察研修) 社会福祉法人佛子園「Share金沢」		4人
5月30～31日	(視察研修) 社会福祉法人福知山学園「むとべ翠光園」 株式会社「ゆう建築設計」		2人
6月11～12日	(視察研修) 社会福祉法人横浜やまびこの里 (視察研修) 社会福祉法人菜の花会		3人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月23～24日	秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修	東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築 光一 氏 ほか	1人
9月22～24日	秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修 I		

秋田県心身障害者コロニー

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月10日	新任職員研修	コロニー職員	8人
4月25日	理念・運営方針・事業計画等説明		
5月18日	法人システムの理解		13人
7月12日	新任准職員研修		11人
8月2日	事業団施設見学（中央地区）	高清水園職員 ほか	11人
8月9日	事業団施設見学（県南地区）	やまばと園職員 ほか	10人
8月28日	制度理解	コロニー職員	12人
4月12日	医療担当者研修		14人
5月10日	統括指導者養成研修（制度、経営）		25人
5月17日	O J T指導者養成研修		13人
5月29日	福祉現場実習受入れ担当者研修		13人
7月9日 7月17日	摂食・嚥下障害の基礎知識	株式会社小田島アクティ	28人
9月27日	施設利用者の高齢化に伴う医療的ケアと支援対応について	コロニー職員	12人
10月25日 10月26日	感染症予防研修		37人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
随時	強度行動障害支援者養成基礎・実践研修伝達研修	コロニー職員	

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月14日	障害者差別解消法の基礎知識	由利本荘市障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員 和田 光子 氏	17人
7月7、21日 8月4日	アートリンクうちのあかり見学	アートリンクうちのあかり職員	12人
9月5、12日	ターミナルケア施設見学 外旭川病院他	外旭川病院	8人
9月27日	障がい者表現活動支援技術研修	秋田公立美術大学 准教授 安藤 郁子 氏	45人
12月21日	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター見学	秋田県立リハビリテーション 精神医療センター職員	4人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
11月29日	苦情・クレーム対応スキルの習得	コロニー職員	13人
8月28日	救急救命講習	由利本荘消防署員	18人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月11～12日	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	秋田県労働基準協会	1人
4月20～21日	アーク溶接等の業務に係る特別教育		1人
4月25日	第1回工賃向上セミナー	社会福祉法人花工房福祉会 エコーンファミリー 所長 小池 邦子 氏	2人
6月14～15日	福祉保健施設・事業所等新任職員研修	ウエルビューいずみ障害者福祉サービス センター 施設長 佐々木 宏幸 氏 ほか	1人
6月21～22日	福祉保健施設・事業所等中堅職員研修Ⅰ	C&P, etc. 代表 尾崎 眞三 氏	1人
7月12～13日	秋田県社会福祉協議会「研修担当職員研修」	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
7月18日	発達障害地域包括支援研修	ふきのとう秋田 相談員 阿部 友里香 氏 ほか	1人
7月30～31日	地域福祉推進研修	特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 副理事長 小野 敏明 氏	1人
7月31日	秋田県結核研修会	公益財団法人結核予防会結核研修所対策支援 部 医学科長 平尾 晋 氏 ほか	1人
8月3日	発達障害者地域支援研修会	協和病院精神科専門外来 精神科医師 吉尾 純 氏 ほか	1人
8月28～29日	キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース）	C&P, etc. 代表 尾崎 眞三 氏	1人
9月5日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修		2人
10月2日	福祉保健施設・事業者等事務職員研修	東北コミュニケーション研究所 所長 高橋 利夫 氏	1人
10月9日	クレーム対応研修	株式会社話し方教育センター 群 清美 氏	1人
10月22日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修	秋田大学医学部皮膚科形成外科 教授 真鍋 求 氏 ほか	1人
10月26日	支援者の為の成年後見活用講座	権利擁護センターばあとなあ秋田 小柳 克子 氏 ほか	1人
10月31日	強度行動障害支援者養成研修実践報告会	社会福祉法人三徳会サポートセンター ハロハロ 服部 敏寛 氏 ほか	1人
11月1日	発達障害者支援研修 ～強度行動障害の状態にある方への支援～	社会福祉法人あーど 理事長 大橋 一之 氏	1人
11月8～9日	東北地区障害者福祉協会東北フォーラム	北海道ハローenjoy 総合施設長 橋 文也 氏	1人
11月10日	介護サービス担当者のためのストーマケア講習会	中通総合病院 西方 展子 氏 ほか	2人
11月20日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	秋田県介護福祉士会 理事 藤巻 恵理子 氏 ほか	2人
12月6日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修	由利本荘市福祉支援課職員 ほか	1人
12月13～14日	課題別研修会Ⅰ 指導的職員に求められる知識・技術	東北コミュニケーション研究所 所長 高橋 利夫 氏	1人
1月21日	障害福祉関係団体合同研修会	社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長 明石 洋子 氏	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月26日	職員作業技術習得研修（製パン）	株式会社マルゼンキッチンコンサルティング 室ベーカーリー・パティスリー シェフ 見城 秀明 氏	2人
6月3日, 7月1日, 8月26日, 9月30日, 12月1日	ミュージックケア研修（初級）	小松 睦 氏	1人
6月7～8日	水道技術者ブロック別研修	日本水道協会 工務部長 芦田 裕志 氏 ほか	1人
6月27日	食品衛生責任者研修会	公益社団法人秋田県食品衛生協会	1人
8月1～3日 8月6～7日	製パン技術習得研修	日本パン技術研究所 客員講師 今井 茂 氏	1人
9月8～10日	発達障害医学セミナー	奈良教育大学学校養育講座 大西 貴子 氏 ほか	1人

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
11月21日	ポジショニング研修	理学療法士 伊藤 亮子 氏	2人
11月30日	由利本荘・にかほ地域就労支援連絡会 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	ハローワーク秋田精神障害者雇用 トータルサポーター 山崎 あかね 氏	1人
12月13日	国立のぞみの園視察見学（高齢期障がい者グループホーム）	独立行政法人国立重度知的障害者支援施設 のぞみの園GHいしはら	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月9日	カウンセリング研修	寺田心理教育研究所 所長 寺田 誠 氏	1人
6月1日	カウンセリング研修	秋田県産業保健操業保健センター 産業保健相談員 阿部 洋子 氏	3人
6月8日	接遇講習会	トータルマナー株式会社 代表取締役 田野 直美 氏	1人
7月11日	カウンセリング研修	寺田心理教育研究所 所長 寺田 誠 氏	1人
8月23日	職場におけるメンタルヘルスセミナー	本荘労働基準監督署 安衛課長 袴田 周 氏 ほか	1人
11月6日	精神福祉協会研修会	秋田県精神保健福祉センター 所長 清水 徹男 氏 ほか	2人
11月14日	カウンセリング研修	寺田心理教育研究所 所長 寺田 誠 氏	4人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月31日	交通安全運転管理者法定講習会	秋田県公安委員会 ほか	2人
9月26日	食品衛生責任者養成講習会	秋田県食品衛生協会 ほか	1人
10月10日	要配慮利用施設の避難確保計画作成に係る講習会（前期）	国土交通省東北地方整備局河川部 水災害予防センター 今野センター長 ほか	1人
10月18～19日	第3回日本基盤ネットワーク全国大会	新潟基盤ネットワーク事務局 事務局長 寺口 能弘 氏 ほか	2人
10月20日	赤十字講習会及び非常時の炊き出し講習会	日赤秋田県支部事業推進課 主事 救急法指導員 須藤 大稀 氏 ほか	1人
11月6日	2018 AKITA介護ロボット展	介護老人保健施設湖東老健 介護科チーフ 藤田 智也 氏 ほか	2人
11月14日	子吉川水系水質事故緊急措置演習	秋田市河川国道事務所 子吉川出張所職員 ほか	2人
12月14日	調理技術研修	公益社団法人秋田県栄養士会	1人
12月21日			1人

由利本荘地域生活支援センター

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月4日	新任職員研修 I	支援センター職員	5人
4月25日	防災に関する研修～消防訓練・設備～		4人
4月25～27日	OJT研修（新任職員対象、各事業共通部分）		2人
4月24日	「事業団理念・運営方針・事業計画」について		45人
5月8日	障がい者の理解		7人
5月17日	サービス等利用計画と個別支援計画		16人
7月9, 11, 18日	個別支援計画研修		24人
12月13日	介護技術習得研修（福祉用具体験）		7人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月28日	事業所視察研修（秋田県医療療育センター）	秋田県医療療育センター職員	4人
10月16～19日	体験研修（心身障害者コロニー）	心身障害者コロニー赤光支援課	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月31日	制度理解研修	支援センター職員	19人
1月24日	障害者差別解消法について		59人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
10月31日	応急手当講習会	由利本荘消防本部救命課職員	11人
10月25日	感染症予防研修	由利地域振興局職員	12人

2 法人外研修

(1) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月8日	接遇講習会	トータルマナー株式会社 代表取締役 田野 直美 氏	1人
6月26～27日	広報誌講習会	株式会社インソース 釋 左枝 氏	1人
7月12～13日	秋田県社会福祉協議会「研修担当職員研修」	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
7月23～24日	就業支援基礎研修	秋田県労働局職員 ほか	1人
9月3～4日	全国グループホーム等研修会四国大会inえひめ	毎日新聞社 論説委員 野澤 和弘 氏 ほか	1人
9月18～19日	就業支援基礎研修 全国基幹相談支援センター強化研修会	早稲田大学方角学院 教授 菊池 馨実 氏 ほか	2人
10月10～11日	相談支援・就業支援セミナー	日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿 氏 ほか	1人
10月22日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修	秋田大学医学部皮膚科・形成外科 教授 真鍋 求 氏 ほか	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月8日	にかほ市障がい者基幹相談センター主催視察研修	社会福祉法人 一羊会 理事長 澤田 修明 氏 ほか	4人
9月5日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・ 事業者部会事業所見学		3人
9月12日	あきた総合支援エリアかがやきの丘3校 合同学校公開		6人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月11～12日	T T A P 研修会	自閉症eサービス/オフィスぼん 代表 中山 清司 氏	1人
6月21日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修会	地域包括支援センター職員 ほか	2人
7月22日	日本ポーターズ協会盛岡支部15周年記念講演会	星槎大学大学院教育学研究科 日本ポーターズ協会理事 西永 堅 氏	7人
7月11日	カウンセリング研修	寺田心理教育研究所 所長 寺田 誠 氏	1人
7月25日	由利本荘市地域包括ケア構築に向けたフォーラム	秋田県医師会 副会長 由利本荘医師会副会長 医師 伊藤 伸一 氏 ほか	2人
9月5日	高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業支援担 当職員研修会	秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター 医療相談連携室長 高橋 敏弘 氏 ほか	2人
9月16日	どんなに障がいが高くとも自分らしく生きるために大切な相談 支援～本人中心の社会モデルで支えていく視点～	日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿 氏	5人
9月26日	秋田県医療観察制度運営連絡協議会研修	山形県立こころの医療センター 看護主査 丸山 直子 氏 ほか	2人
11月15日	発達障害地域理解促進フォーラム	国立特別支援教育総合研究所 笹森 洋樹 氏 ほか	1人
11月30日	第3回精神科ケアシリーズ講演会	秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター 医師 小林 祐美 氏 ほか	2人
12月11～12日	障害者支援事業合同協議会	秋田県手をつなぐ育成会 会長 高橋 精一 氏 ほか	1人

阿 桜 園

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月3, 5日 5月18, 21日 11月6, 8日	転任・新任職員研修	阿桜園職員	50人
5月21日	ハイクオリティサービス推進システム研修		16人
4月18日	O J T 指導者研修		7人
7月30日	感染症予防対策研修	共栄メディカル 打川 卓 氏 ほか	27人
10月11日	不審者対応研修	横手警察署職員	15人
11月26日	感染症予防対策研修	平鹿総合病院感染対策室 感染管理認定看護師 高橋 由美子 氏	23人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
8月28日	介護技術研修	南部老人福祉総合エリア居宅支援センター 介護支援専門員 田畑 良江 氏	16人
12月6日	利用者支援スキルアップ研修	秋田大学教育文化学部 こども発達・特別支援講座 鈴木 徹 氏	20人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
7月5, 17日	施設見学（秋田県医療療育センター）		5人
7月18日 11月20, 27日	虐待防止研修	阿桜園職員	76人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月26日	普通救命講習	横手消防署職員	15人
10月25日	腰痛予防対策研修	阿桜園職員	14人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
6月14～15日	福祉保健施設・事業所等新任職員研修	ウエルビューいずみ障害者福祉サービスセンター 施設長 佐々木 宏幸 氏 ほか	2人
12月3～4日	課題別研修Ⅰ～指導的職員に求められる知識・技術～	東北コミュニケーション研究所 所長 高橋 利夫 氏	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
7月12～13日	秋田県社会福祉協議会「研修担当職員研修」	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
8月22日	県南地区給食施設関係者研修会	平鹿地域振興局福祉環境部 健康・予防課 大越 友紀子 氏 ほか	1人
8月25日	自閉症学習会	いわて自閉症センター 臨床心理士 高橋 昇 氏 ほか	2人
8月23～24日	宮城県知的障害者福祉協会 サービス管理責任者等スキルアップ研修会	アスム療育・研修センター 臨床心理士 猪又 初恵 氏 ほか	2人
9月29日	自閉症学習会	いわて自閉症センター 臨床心理士 高橋 昇 氏 ほか	2人
11月14日	横手市相談支援専門員ケアマネージャー合同研修	横手市健康福祉部社会福祉課 障がい福祉係 ほか	2人
11月20日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	秋田県介護福祉士会 理事 藤巻 恵梨子 氏 ほか	1人
12月6日	社会福祉施設等における感染症対策研修会	市立横手病院 感染対策室 副室長 小川 伸 氏	1人
1月29日	福祉実践2018inあきた	東北福祉大学 総合福祉学部 教授 田中 尚 氏	1人
1月30～31日	第7回障害者支援施設部会全国大会〔東北地区岩手大会〕	東北地区知的障害者福祉協会 災害対策委員会 委員長 鷹嘴 武寿 氏 ほか	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
7月31日	先進地体験研修（障がい児入所施設若竹学園）		5人
8月2日	先進地体験研修（障がい者支援施設東山学園）		5人
8月7日 9月12日	産業保健セミナー	秋田障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 佐藤 桃子 氏	1人
9月20～21日	東北地区知的障害者福祉協会専門研修	宮城県 幸泉学園 副施設長 大志田 朱樹子 氏 ほか	1人
10月4～5日	秋田県知的障害児者生活サポート協会研究会 「親亡き後」を考えるシンポジウム	行政書士・「親なきあと」相談室 主宰 渡部 伸 氏 ほか	1人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
8月16日	インクルーシブ教育システム推進事業 特別支援教育かがやきミーティング（県南地区）	東京大学先端科学技術研究センター 教授 中邑 賢龍 氏	2人
8月18～19日	日本自閉症スペクトラム学会第17回研究大会	信州大学医学部付属病院 本田 秀夫 氏 ほか	1人
9月5日	腰痛予防対策講習会	中央労働災害防止協会 健康快適推進部 企画管理課	1人
10月25日	就労支援セミナー ～障害者の「働く」「生活する」を支える～	一般社団法人働くしあわせプロジェクト 就労移行支援事業所 働くしあわせ JINEN-DO理事 北村 尚弘 氏 ほか	1人
11月6日	2018 AKITA 介護ロボット展	医療法人正和会 介護老人保健施設 湖東老健 介護科チーフ 藤田 智也 氏 ほか	1人
1月25日	AD介護EXPO IN大曲	あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社	2人

やまばと園

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月3日	転任・新人職員研修	やまばと園職員	12人
4月12日	普通救命講習Ⅱ	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防署 稲川分署職員	14人
11月30日	触法障害者への支援について	秋田県地域生活定着支援センター 相談員 森 茂 氏	49人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
8月31日	個別支援計画と意思決定支援	やまばと園職員	22人
9月18日	認知症の基礎について	特別養護老人ホームさくら 施設長 大山 育子 氏	18人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
5月15, 17日	虐待防止・身体拘束・権利擁護について	やまばと園職員	56人
5月22日	接遇・マナーについて		19人
8月9, 10日	施設見学・現場実習(秋田県：にじの家)	にじの家 施設長 桜田 星宏 氏	2人
11月1日	虐待防止チェックからの検証	やまばと園職員	22人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月21日	感染症予防研修	やまばと園職員	15人
7月26日	障がいの理解・支援研修		10人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
7月12～13日	秋田県社会福祉協議会「研修担当職員研修」	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
7月24～25日	福祉保健施設・事業所等中堅職員研修 I	C&P, etc. 代表 尾崎 眞三 氏	1人
8月3日	発達障害者地域支援研修会	協和病院精神科専門外来 精神科医師 吉尾 純 氏 ほか	2人
8月16日	インクルーシブ教育システム推進事業 特別支援教育かがやきミーティング（県南地区）	東京大学先端科学技術研究センター 教授 中邑 賢龍 氏	1人
8月24～25日	福祉保健施設・事業所等新任職員研修	特別養護老人ホーム鶴寿苑 施設長 鈴木 卓 氏 ほか	1人
10月26日	第15回支援者のための成年後見活用講座	成年後見センター・リーガルサポート秋田 幹事 司法書士 梅崎 昌弘 氏 ほか	1人
11月20日	秋田県地域生活定着促進セミナー（湯沢雄勝地区）	地域生活定着支援センター 次長 三森 宏一 氏 ほか	2人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月9日	第16回自閉症初級セミナー	いわて自閉症センター 運営委員長 高橋 昇 氏 他	1人
6月12, 18, 28日	発達障害支援者研修会	湯沢市子育て支援総合センターすこやか 島津 ゆき子 氏	1人
7月4～6日	知的障害支援者専門職員研修会	筑波大学 教授 小澤 温 氏 ほか	1人
7月31日	危険物取扱者保安講習	秋田県危険物安全協会連合会	1人
9月2日	摂食指導者育成研修会	NPO法人摂食コミュニケーション ・ネットワーク なかしま ちかこ 氏	4人
9月20～21日	東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	相談支援事業所ヴィーヴィルきたあきた 伊藤 清貴 氏	2人
11月20日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	秋田県介護福祉士会 理事 藤巻 恵梨子 氏 ほか	1人
1月30～31日	第7回障害者支援施設部会全国大会[東北地区岩手大会]	東北地区知的障害者福祉協会 災害対策委員会 委員長 鷹嘴 武寿 氏 ほか	1人
2月12日	秋田県知的障害者福祉協会職員研修会	常盤大学大学院人間科学研究科 教授 水口 進 氏 ほか	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
8月9～10日	施設見学・現場実習（秋田県：虹のいえ）		2人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月25日	第1回工賃向上セミナー	社会福祉法人花工房福祉会 エコーンファミリー 所長 小池 邦子 氏	1人
11月8日	県南障害福祉施設職員及び保護者会員合同研修会	きのね心の健康クリニック 所長 沓澤 佳子 氏	5人
11月11日	地域施策推進事業研修会「めざせ！健康寿命日本一 ～健康寿命はいい塩(あん)ばいから～」	国立循環器病研究センター 高 田 彰 氏 ほか	2人
11月27日	H30湯沢市雄勝郡社会福祉入所施設協議会研修	認知症介護研究・研修仙台センター 研修部長 矢吹 知之 氏	2人

秋田県身体障害者更生訓練センター

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月3～27日	転任・新任職員研修	訓練センター職員	4人
5月1～31日	新任職員研修		1人
12月3～28日	新任職員研修		1人
1月7～31日	新任職員研修		1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
8月1～30日の期間 の2日間	体験研修	障がい者サポートセンター聖和	8人
11月27～30日	体験研修	障がい者支援施設高清水園	1人
12月3～14日の2日 間	体験研修	障がい者支援施設柏の郷	8人
12月18～21日の2日 間	体験研修	障がい者支援施設北杜	3人
1月30日	体験研修（看護職員）	障がい者支援施設北杜	1人
2月14日	体験研修（口腔ケア）	日本訪問歯科協会	8人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月14日	視察研修	障がい者支援施設柏の郷	3人
6月18日	視察研修	障がい者支援施設北杜	3人

2 法人外研修

(1) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
8月1日	発達障害者地域支援研修会	協和病院精神科専門外来 精神科医師 吉尾 純 氏 ほか	1人
9月2日	摂食指導者育成研修会	NPO法人摂食コミュニケーション ・ネットワーク なかしま ちかこ 氏	2人
10月11日	秋田市感染症予防研修会	秋田厚生医療センター 呼吸器内科診療部長 福井 伸 氏 ほか	1人
10月26日	支援者のための成年後見活用講座	成年後見センター・リーガルサポート秋田 幹事 司法書士 梅崎 昌弘 氏 ほか	1人
12月21日	調理技術研修	公益社団法人秋田県栄養士会	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
11月19～20	障害者虐待防止・権利擁護研修	秋田弁護士会 笈川 正典 氏 ほか	1人

秋田県点字図書館

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月10日	新任職員研修	点字図書館職員	4人

(2) 特別研修

① 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
4月25日	ホームページ更新技術習得研修	事務局職員	8人

2 法人外研修

(1) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加 人員
6月7～8日	第48回東北・新潟・北海道ブロック点字図書館等連絡協議会 施設長・担当者会議（新潟市）	全国視覚障害者情報提供施設協会 常務理事 姉崎 久志 氏 ほか	2人
6月13～14日	新任管理者研修会（大阪市）	日本ライトハウス情報文化センター 岡本 昇 氏 ほか	1人
7月5～6日	サビエ研修会（東京都渋谷区）	サビエシステム管理者 勢木 一功 氏 ほか	3人
8月28～30日	点字指導員講習会 第27回点字指導員資格認定講習会（大阪市）	日本点字委員会会長 渡辺 昭一 氏 ほか	1人
9月13～14日	第48回東北・新潟・北海道ブロック 点字図書館等連絡協議会点訳部会研修会(新潟市)	全視情協点訳委員会 委員長 加藤 三保子 氏 ほか	2人
10月6～7日	eye eye 福祉機器展2018 視覚障害者のための生活用具展示会（仙台市）	日本点字図書館担当者 ほか	1人
10月25～26日	第44回全国視覚障害者情報提供施設大会(岐阜市)	全国視覚障害者情報提供施設協会 理事長 竹下 亘 氏 ほか	1人
1月31日	点字担当職員研修会（東京都渋谷区）	全国視覚障害者情報提供施設協会 点訳委員会 委員長 加藤 三保子 氏 ほか	2人

8. 苦情解決処理状況

(1) 施設別件数

区 分	(職員の サービスの 接遇等)	(サー ビスの 質・量)	説 明・ 情 報 提 供	施 設・ 設 備	制 度・ 政 策	金 銭	被 害・ 損 害	権 利 侵 害	そ の 他	計	(継続中の 苦情解決 結果の件数)
北部老人福祉総合エリア										0	0
中央地区老人福祉総合エリア	1		1							2	0
南部老人福祉総合エリア	1	1							8	10	0
高清水園										0	0
心身障害者コロニー									1	1	0
由利本荘地域生活支援センター	1									1	0
阿桜園			1							1	0
やまばと園	3									3	0
身体障害者更生訓練センター									1	1	0
点字図書館										0	0
計	6	1	2	0	0	0	0	0	10	19	0

(2) 苦情の主な内容

	内容の分類	件数	割合	苦情内容	解 決 策
利用施設	説明・情報提供	1	17%	プールにおける次年度以降のコース貸し切りによる教室運営について	土日の営業時間を午前9時からとし、コース貸切りは2コースまでと定め、関係団体及びお客様へ周知した。
障がい施設・老人施設	サービス内容 (職員の接遇等)	5	38%	職員がポケットに手を入れたまま、保護者等と会話していることについて	職員の対応が不適切であること、改善のための指導を実施したことを説明した。
	サービス内容 (サービスの質と量)	1	8%	配達された弁当の和え物に紙片が混入したことについて	調理時にキッチンペーパーの使用を控えることを申し合わせ、謝罪と原因、その対策を説明した。
	その他	6	46%	居室に他の利用者が、お金を借りたいと頻繁に出入りし困っていることについて	金銭借用の有無等の現状を確認し、ルール、マナーを厳守するよう伝えることで、申出者から了承をもらった。

(3) 過去5年間における苦情件数の推移

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件 数	20	22	22	23	19

(4) 苦情解決処理委員会の開催状況

施 設 名	開 催 日	出席者人数	会 議 内 容
北部老人福祉総合エリア	平成31年3月8日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 2 名	・ 平成30年度前期苦情解決処理状況 ・ 顧客満足度調査集計表 ・ 第三者委員による助言、意見交換 ・ 平成30年度の事業報告について
中央地区老人福祉総合エリア	平成31年3月7日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 2 名	・ 苦情解決処理状況 ・ 顧客満足度調査報告 ・ 第三者委員からの助言 ・ 平成30年度利用状況
南部老人福祉総合エリア	平成31年3月5日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 7 名	・ 苦情内容及び解決報告 ・ 顧客満足度調査報告 ・ 第三者委員による助言、意見交換 ・ 次期第三者委員について
高清水園	平成31年3月12日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 6 名	・ 高清水園の運営状況 ・ 平成30年度苦情解決結果報告 ・ 平成30年度「なんでも相談」実施状況 ・ 第三者委員との意見交換
心身障害者コロニー	平成31年3月14日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 11 名	・ 各部署より苦情処理状況報告 ・ 第三者委員より講評と助言
由利本荘地域生活支援センター	平成31年3月13日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 6 名	・ 苦情処理状況報告 ・ 第三者委員より講評と助言
阿桜園	平成31年2月26日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 6 名	・ 平成30年度の苦情状況について ・ 第三者委員との意見交換
やまばと園	毎月12回実施	・ 職員 7 名	・ 各寮の状況について ・ 苦情受付状況について ・ 何でも聞きます会について
	平成31年2月26日	・ 第三者委員 1 名 ・ 親の会代表委員 2 名 ・ 職員 7 名	・ 平成30年度苦情解決状況について ・ 質疑応答 ・ 第三者委員からの助言 ・ 親の会代表委員からの助言
身体障害者更生訓練センター	平成31年2月28日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 3 名	・ 平成30年度苦情申出・解決状況の報告 ・ 第三者委員より講評と助言
点字図書館	平成31年3月7日	・ 第三者委員 2 名 ・ 職員 2 名	・ 平成30年度苦情解決処理について ・ 平成30年度顧客満足度調査について ・ 第三者委員講評

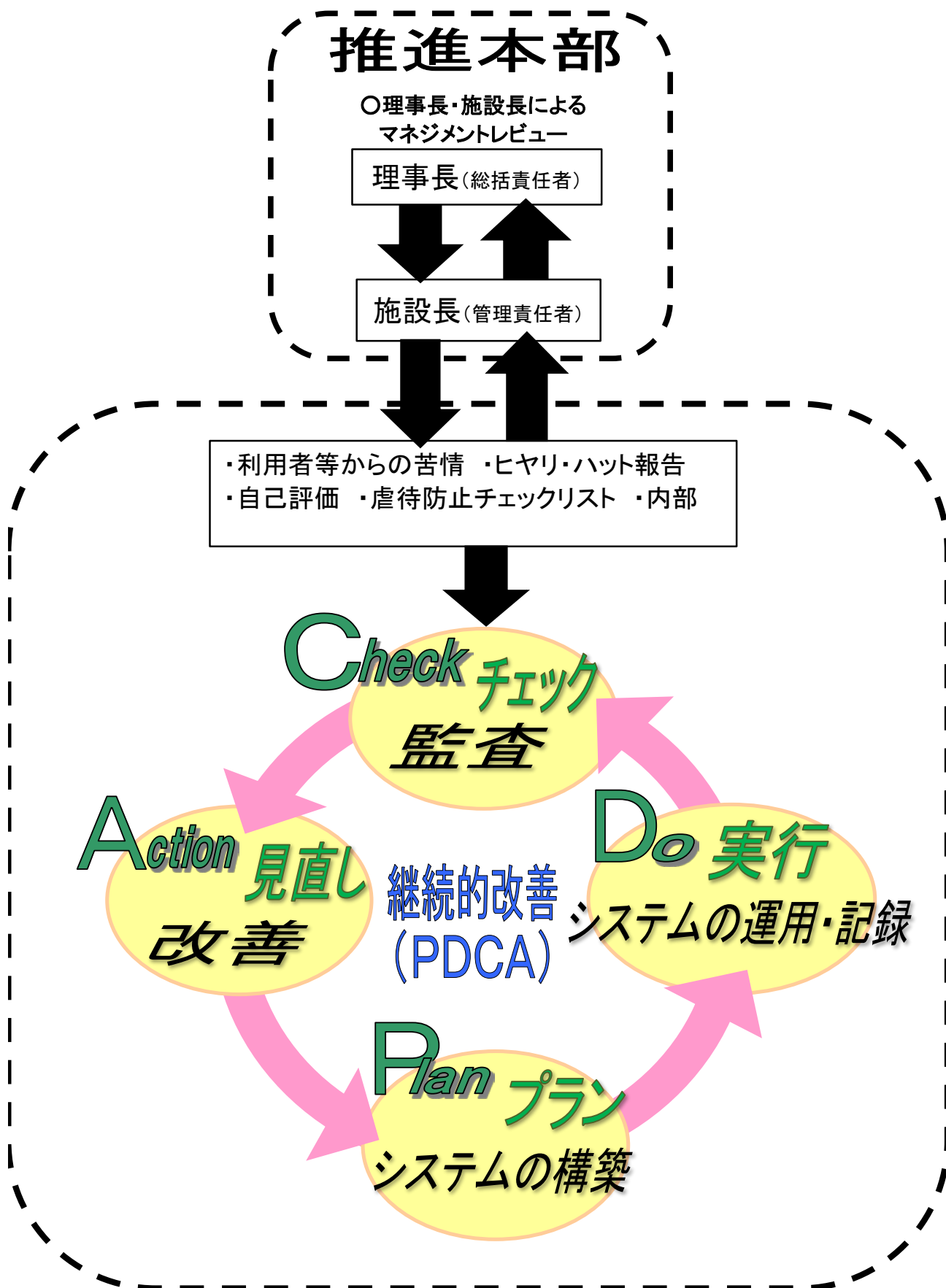
9. 虐待防止委員会の開催状況

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
南部老人福祉総合エリア	4・8・10・12・2・3月実施	・職員4～6名	・平成30年度年間計画について ・虐待防止への具体的な取組について ・標語の掲示について ・虐待防止標語の啓発の取組について ・虐待防止チェックリストの実施について ・介護職員が受ける暴力について（アンケート） ・虐待防止セミナーについて ・虐待防止チェックリストからの検証 ・身体的拘束等の適正化のための対策 ・平成31年度虐待防止標語について ・高齢者虐待防止セミナーより
	平成31年3月5日	・第三者委員2名 ・職員6名	・今年度の取組について - 委員会実施状況 - 虐待防止チェックリストについて - 職員アンケートについて - 虐待防止標語について - 意見交換
高清水園	平成30年8月2日	・職員15名	・虐待防止チェックリストについて ・法人新任職員研修について ・虐待防止委員の確認（利用者・家族・第三者）
	平成30年9月12日	・職員7名	・虐待防止チェックリストの集計結果 ・虐待防止研修について ・次年度チェックリストについて
	平成31年3月12日	・第三者委員1名 ・利用者1名 ・職員6名	・虐待防止チェックリストの結果について ・第三者委員講評
心身障害者コロニー	9月2回、11月と2月に実施	・職員10～12名	・各課の虐待を疑われるケースについて ・虐待防止チェックリストの結果について ・虐待防止チェックリスト実施結果による今後の対応について ・各課より結果と対策について
	平成31年3月14日	・第三者委員2名 ・利用者2名 ・家族1名 ・職員12名	・虐待防止チェックリスト結果報告について ・虐待防止に関する取組報告 ・委員より講評・助言

施 設 名	開 催 日	出席者人数	会 議 内 容
由利本荘地域生活支援センター	8月に2回、10月と12月に実施	・職員 4～7 名	・虐待防止チェックリストの実施方法について ・虐待を疑われるケースについて検討 ・虐待防止チェックリスト結果について ・事業団全体の虐待防止チェックリスト集計結果について ・ストレスチェック結果について
	平成31年3月13日	・第三者委員 2 名 ・利用者 1 名 ・職員 8 名	・平成30年度取組事項について ・虐待防止委員より講評と助言
阿桜園	平成31年2月26日	・第三者委員 1 名 ・利用者 1 名 ・保護者 1 名 ・職員 9 名	・「秋田県社会福祉事業団虐待防止チェックリスト」に基づく自己点検結果について ・虐待防止に向けた取組みについて ・意見交換
やまばと園	毎月実施	・職員 7～9 名	・各寮の状況について ・平成30年度の取組について ・虐待防止チェックの結果について ・虐待防止ポスターについて ・虐待に係る利用者への聞き取り調査結果について ・第2回虐待防止チェックの実施について
	平成31年2月26日	・第三者委員 1 名 ・親の会代表委員 2 名 ・利用者 1 名 ・職員 7 名	・平成30年度虐待防止への取組について ・質疑応答 ・第三者委員からの助言
身体障害者更生訓練センター	平成31年2月28日	・第三者委員 2 名 ・職員 6 名	・虐待チェックリストによる自己点検結果について

10. ハイクオリティサービス推進システム

利用者の満足度を高め選ばれる施設になるため、業務をマニュアルにより標準化し、PDCAサイクルを活用することで人材育成と組織のレベルアップを目指したのが、ハイクオリティサービス推進システムである。



10. ハイクオリティサービス推進システム

ハイクオリティサービス推進システムは、厚生労働省の第三者評価基準に基づいて作成した「事業団自己評価基準」を必要最小限の評価基準とし、福祉サービスの向上と危険・事故等に対する危機管理を基軸として、利用者により良いサービスを提供するための事業団における独自のシステムの名称である。

項 目	内 容
マネジメントレビュー	マネジメントレビューは、理事長からの指示に基づき、各施設長が取り組んできたサービス改善内容の総評である。 ・虐待のひとつと言われるスピーチロック（言葉の拘束）について意識調査を実施したり、虐待の具体例、通報義務等施策の流れを研修で確認したりし、虐待防止に取り組んだ。 ・利用者の重度高齢化対応の一環として、職員が高齢者疑似体験研修に参加し、利用者の心情や状況の理解に努めた。 ・強度行動障がい支援の充実を図るため、個々の特性を考慮した建物内の構造化や視聴覚に働きかける支援の活用に取り組んだ。
自己評価	事業団自己評価基準に基づき、全職員が毎年一回実施し、その結果からサービス改善に向け取り組んだ。 ・認知症の診断を受けた利用者があることから、適切な介護技術の習得のため、事業所内研修を開催した。 ・身体拘束廃止に向けた委員会を設置し、身体拘束を行わない介護の手法等について事業所内研修を開催した。 ・地域全体で災害に備える体制を構築するため、施設近隣の学校、保育園、福祉事業所と合同避難訓練を実施した。
内部監査	ハイクオリティサービス推進システムに定められた規格類やマニュアルが適切に運用されているかを毎年一回監査し、書類及びヒアリングによる確認を実施した。 ・ヒヤリ・ハット報告において予防策等を検討するケース検討会議やその後の検証をするための会議が開催されているものの、それらの議事録に不備が見受けられたため改善に取り組んだ。 ・危機管理について、災害時に職員が参集する基準を新たにマニュアルに明記したり、避難訓練の反省点を次の訓練にいかす引き継ぎに取り組んだ。
ヒヤリ・ハット報告	総計 625件（平成29年度 693件） ・ヒヤリ・ハット報告をデータ化し、パソコン上で確認できるようにしたことで、様々な職種の職員と共有することができた。 ・アクシデント報告が多く、今後、インシデントにどのように気付き、それらを共有していくのか課題となった。